

# 渡辺国武関係文書（その2）目録

2023年5月

国立国会図書館憲政資料室

目録・最新の概要情報はウェブサイトに掲載しています

国立国会図書館リサーチ・ナビ「憲政資料（憲政資料室）」

(<https://rnavi.ndl.go.jp/kensei/jp/index.html/>)

## 凡例

1. 書簡のタイトルは発信人とした。
2. 書簡は発信者の五十音順に配列し、さらにその中を年月日順に配列した。
3. 書簡に添付されていた書類はその書簡のすぐ後ろに配列した。
4. 2-2哲学・禅等に関する著作、草稿は、作成年月日の不明なものが多数を占めるため、年月日の判明するものも含めて政策研究大学院大学より受け取った際のダンボール箱に保存されていた時の並びのまま配列した。
5. その他の史料は年月日順に配列した。

本目録は、政策研究大学院大学で整理された資料リストを利用し、憲政資料室が安原徹也氏(東京大学大学院人文社会系研究科博士課程)に依頼して作成したものである。

## 目次

### 渡辺国武関係文書（その2）

- └ 2011年公開分（1001～1229）
  - └ 1. 書簡（1001～1031）
  - └ 2. 書類（1032～1204）
    - └ 2-1. 任官時代の行政関係文書等（1032～1048）
    - └ 2-2. 哲学・禅等に関する著作・草稿（1049～1204）
  - └ 3. 写真等（1205～1208）
  - └ 4. 刊行物等（1209～1217）
  - └ 5. 渡辺千冬関係（1218～1229）
- └ 2017年追加分（1501～2369）
  - └ 1. 渡辺国武宛書簡（1501～2074）
  - └ 2. 渡辺国武その他書簡（2075～2090）
  - └ 3. 渡辺国武関係書類（2091～2282）
  - └ 4. 渡辺国武履歴資料（2283～2369）

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
<b>2011年公開分 (1001~1229)</b>						
1. 書簡 (1001~1031)						
1001	伊沢修二書簡 渡辺国武宛	伊沢修二	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治28年〕3月15日	数量 1通 記述法 墨書	あり
1002	板垣退助書簡 渡辺国武宛	板垣退助(内務大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	〔明治29年〕	数量 2点 内容 進歩党の動向(埼玉、福岡、佐賀、広島、茨城、香川、福島、京都、兵庫、)に関する機密電報等写し 記述法 印刷〔蒔莢版(手書)〕	あり
1003	板垣退助書簡 渡辺国武宛	板垣退助(内務大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	〔明治29年〕	数量 1点 内容 進歩党の動向(宮城、富山、京都、高知、新潟、茨城、)に関する機密報告写し 記述法 印刷〔蒔莢版(手書)〕	あり
1004	K.Inouye書簡 渡辺千冬宛	K.Inouye	T.Watanabe(渡辺千冬)	1909年3月19日	数量 6枚 内容 日本製鋼所第26回取締役会に関する提案 記述法 タイプ 用紙 日本製鋼所野紙	あり
1005	井上勝之助書簡 渡辺国武宛	井上勝之助	〔渡辺国武〕	4月8日	数量 1通 内容 クルップ宛添書を進呈、大蔵大臣に面会の際にチユスセルドルフ県知事訪問について程よく回答した 記述法 墨書 備考 封筒なし	あり
1006	榎本武揚書簡 渡辺国武宛	榎本武揚	渡辺国武	〔明治41年〕4月1日	数量 1通 内容 女婿石川章雄の件につき、同人実父敬直が貴邸を拜趨のため宜しく引見されたし 記述法 墨書	あり
1007	大谷嘉兵衛書簡 渡辺国武宛	大谷嘉兵衛	渡辺国武	5月18日	数量 1通 内容 紅茶1箱送付 記述法 墨書 備考 封筒なし	あり
1008	大山巖・大山捨松書簡 渡辺国武宛	大山巖・大山捨松	渡辺国武	明治27年1月19日	数量 1枚 内容 晩餐会招待状 記述法 印刷〔活版〕	あり
1009	筧克彦書簡 渡辺千冬宛	筧克彦	Watanabe Chifuyu(渡辺千冬)	11月17日	数量 1枚 内容 香港に到着、見物した 記述法 墨書 用紙 Union Postale Universelle Post Card	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1010	川田小一郎書簡 渡辺国武宛	川田小一郎 (日本銀行総 裁)	〔渡辺国武 (逓信大 臣)〕	明治28年8月1 7日	数量 1通 内容 本日定式株主総会にて本年上半期決算 報告が済む、報告書1部を進呈 記述法 墨書	あり
1011	日本銀行第二十六 回半季報告	川田小一郎 (総裁)・三 野村利助(理 事)・與倉守 人(理事)・ 川上左七郎 (理事)		明治28年8月9 日	数量 1冊 内容 日本銀行第二十六回計算書、官金事務 并銀行紙幣消却事務報告 記述法 印刷〔活版〕 備考 請求記号1010に同封	あり
1012	明治二十八年七月 三十一日現在日 本銀行株主姓名表	〔日本銀行〕		〔明治28年〕	数量 1冊 記述法 印刷〔活版〕 備考 請求記号1010に同封	あり
1013	川田小一郎書簡 渡辺国武宛	川田小一郎	〔渡辺国武 (大蔵大 臣)〕	〔明治28年〕3 月9日	数量 1通 記述法 墨書	あり
1014	宮内省上直侍従書 簡 渡辺国武宛	宮内省上直侍 従	〔渡辺国武 (大蔵大 臣)〕	1月18日	数量 1通 内容 雉2羽下賜 記述法 墨書	あり
1015	黒田清隆電報 渡 辺国武宛	〔黒田清隆 (枢密院議 長)〕	〔渡辺国武 (逓信大 臣)〕	明治28年3月9 日	数量 1通 内容 電報拝謝す 記述法 ペン、墨書	あり
1016	神戸局長電報 渡 辺国武宛	神戸局長	〔渡辺国武 (逓信大 臣)〕	明治28年3月1 9日	数量 1通 内容 皇后陛下本日発輿 記述法 ペン、墨書	あり
1017	鈴木大亮電報 渡 辺国武宛	〔鈴木大亮 (逓信次 官)〕	〔渡辺国武 (逓信大 臣)〕	明治28年3月1 7日	数量 1通 内容 ご転任を祝す 記述法 ペン、墨書 備考 大臣就任日の電報	あり
1018	添田寿一書簡 渡 辺国武宛	添田寿一	渡辺国武	明治42年11月 5日	数量 1通 内容 此度の改革にも大坂に勤め続きの旨を 大蔵次官より内聞あり安心す 記述法 墨書	あり
1019	添田寿一書簡 渡 辺国武宛	〔添田寿一〕	渡辺国武	4日	数量 1通 内容 全快を祝す 記述法 墨書 備考 封筒なし	あり
1020	谷干城・波多野敬 直書簡 渡辺国武 宛	谷干城(市政 講究会長)・ 波多野敬直 (同副会長)	渡辺国武	明治42年2月1 1日	数量 1通 内容 役員就任依頼 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1021	市政講究会設立ノ趣旨	市政講究会		明治42年2月	数量 1枚 内容 市政講究会設立ノ趣旨、規約、会員氏名 記述法 印刷[活版] 備考 請求記号1020に同封	あり
1022	〔市政講究会役員依頼名簿〕	〔市政講究会〕		明治42年2月	数量 1枚 記述法 印刷[活版] 備考 請求記号1020に同封	あり
1023	永井柳太郎書簡 渡辺国武宛	永井柳太郎	渡辺国武	明治40年1月1日	数量 1枚 内容 謹賀新年。英国留学で植民政策・社会政策に関する調査に注心。閣下年来の持論たる国民的政府・輿論政治の不可欠なるを感ず。 記述法 ペン	あり
1024	日置黙仙書簡 渡辺国武宛	日置黙仙	渡辺国武	明治43年7月25日	数量 1枚 内容 講習の為また北海道へ 記述法 墨書 用紙 葉書	あり
1025	日置黙仙書簡 渡辺国武宛	日置黙仙(遠州秋葉総本願可睡斎主)	渡辺国武	明治43年11月4日	数量 1通 記述法 墨書	あり
1026	宮内省爵位局書簡	宮内省爵位局	渡辺国武	明治28年9月17日	数量 1通 内容 渡辺千冬養子願、土方久元(宮内大臣)からの認可の通知 記述法 墨書	あり
1027	D.Fukuzawa書簡	D.Fukuzawa	Tchifuyu Watanabe(渡辺千冬)	明治42年7月9日	数量 1枚 内容 日本製鋼所第34回取締役会に関する議事録を持参したい 記述法 タイプ 用紙 日本製鋼所用紙 備考 英文	あり
1028	渡辺国武書簡 伊藤博文宛	渡辺国武(大蔵大臣)	伊藤博文(内閣総理大臣)	明治29年8月	数量 1通 内容 脳充血症にて職務に堪え難く免官を願う、宜しく執奏されたし 記述法 墨書 備考 封筒なし	あり
1029	渡辺国武書簡(翻刻)	〔渡辺国武〕	〔渡辺千冬〕	明治33年11月4日	数量 1通 内容 洋行中全精力を偉大の事に用い平凡の事に消耗するべからず 記述法 印刷	
1030	訓諭	渡辺国武	渡辺千冬	明治33年11月5日	数量 1通 内容 留学中の振る舞い、留学期限、費用 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1031	差出人不明書簡 Vickers宛	[差出人不明]	Vickers	明治42年5月	数量 1綴 内容 製鋼所の公認会計士につき新聞紙上で論評。本件に関する書籍を拝受。 記述法 タイプ	あり

2. 書類 (1032～1204)

**2-1. 任官時代の  
行政関係文書等  
(1032～1048)**

1032	明治四年斗南行役日記	渡辺国武		明治4年	数量 1冊 内容 明治4年7～9月の斗南県への行役日記。大蔵卿大久保と同行。原資料のコピーおよび翻刻。 付属資料 渡辺武宛封筒、1枚 記述法 印刷	
1033	立志社上書ノ写	片岡健吉(立志社總代)		明治10年6月	数量 1冊 記述法 墨書	あり
1034	[本県警察費請乞の件につき建伯]	[小池国武(渡辺国武)]	[大久保利通(内務卿)]	明治10年12月13日	数量 1綴 記述法 墨書 用紙 高知県野紙	あり
1035	[建言書]	渡辺国武(高知県令)	大隈重信(地租改正局總裁)	明治12年5月	数量 1綴 記述法 墨書 用紙 高知県野紙 備考 請求記号1036と同文	あり
1036	[建言書]	渡辺国武(高知県令)	大隈重信(地租改正局總裁)	明治12年5月	数量 1綴 記述法 墨書 用紙 高知県野紙 備考 請求記号1035と同文	あり
1037	改正局急務條議				数量 1綴 記述法 墨書 用紙 大蔵省野紙	あり
1038	高知県土地処分見込書				数量 1綴 記述法 墨書	あり
1039	[私設鉄道買取方案審査特別委員会報告に関する論評]			[明治24年頃]	数量 1綴 記述法 墨書	あり
1040	旧斗南藩士公債証書下附請願ノ件				数量 1綴 内容 明治30年家禄賞典禄処分法により公債証書の下付を乞う 記述法 印刷 [蒟蒻版(手書)] 用紙 大蔵省野紙	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1041	東京日日新聞			明治31年1月20日	数量 1枚 記述法 印刷[活版] 備考 渡辺国武「読財政経済意見」掲載。	あり
1042	東京日日新聞			明治31年1月21日	数量 1枚 記述法 印刷[活版] 備考 渡辺国武「読財政経済意見」掲載。	あり
1043	台湾協会趣意書草案				数量 1綴 内容 台湾協会創立趣意書、台湾協会創立案 記述法 印刷	あり
1044	長野県政友二対スル告别書	渡辺国武	長野県政友諸君	明治33年10月	数量 1綴 記述法 墨書	あり
1045	〔財政問答・参考表〕				数量 1綴 記述法 墨書 用紙 大蔵省罫紙 備考 第4次伊藤内閣大蔵大臣時代の財政参考資料か。	あり
1046	臨時事件艦艇補足費・造船造兵及修理費総支出明細書				数量 1綴 記述法 墨書	あり
1047	明治四十年年度臨時事件費概算書			明治40年度	数量 1綴 記述法 墨書	あり
1048	〔領収証〕	警醒社書店	渡辺国武	明治41年5月31日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

2-2. 哲学・禅等  
に関する著作・草稿(1049~1204)

1049	禅機卜哲学	渡辺国武		明治31年12月19日	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり
1050	『哲学雑誌』第14巻第143号	哲学雑誌社		明治32年1月10日	数量 1冊 記述法 印刷[活版] 備考 渡辺国武「禅機と哲学」所収	あり
1051	無辺閑話 一名機外剣客雑著六種	渡辺国武 [著]・鉄華書院 [刊]		明治35年12月14日	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり
1052	哲学神髓 第一稿 綱領ノミ 解釈八 追稿(草稿)	渡辺国武			数量 3綴 記述法 墨書	あり
1053	外篇第二 科学原理統一論(草稿)	渡辺国武			数量 14枚 記述法 墨書	あり
1054	外篇第一 東西哲学判釈史(草稿)	渡辺国武			数量 84枚 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1055	関係哲学綱要（草稿）	渡辺国武			数量 194枚 記述法 墨書	あり
1056	内篇 関係哲学綱要（草稿）	渡辺国武			数量 190枚 記述法 墨書	あり
1057	関係哲学綱要（草稿）	渡辺国武		明治39年	数量 1綴 記述法 墨書	あり
1058	仏教哲学玄義（草稿）	渡辺国武			数量 34枚 記述法 墨書	あり
1059	哲学一家言提要完（草稿）	渡辺国武			数量 101枚 記述法 墨書	あり
1060	哲学神髓一家言（草稿）	渡辺国武			数量 43枚 記述法 墨書	あり
1061	仏教哲学玄義（草稿）	渡辺国武			数量 155枚 記述法 墨書	あり
1062	第三章 推論第一 宇宙上ニ於ル一切 万有八皆相待的二 関係シテ存立スル 所ノ兩項中ノ一項 トシテノミ存立ス ルノ理ニ就テ（草稿）	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1063	第六章 政治論（草稿）	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1064	第五章 日本神道論（草稿）	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1065	世界的政策実行ノ準備（草稿）	渡辺国武			数量 7枚 記述法 墨書	あり
1066	哲学雑俎（草稿）	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1067	第十三章 印度外道哲学論（草稿）	渡辺国武			数量 3枚 記述法 墨書	あり
1068	第十八章 ヘーゲル哲学論（草稿）	渡辺国武			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1069	CHAPTER11 INT RODUCTORY 11 OF THE FOUND ATION OF EPIS TEMOLOGY				数量 1綴 記述法 タイプ	あり
1070	ESSENCE OF PH ILOSOPHY				数量 1綴 記述法 タイプ	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1071	哲学一家言提要 (草稿)	渡辺国武			数量 34枚 記述法 墨書 備考 請求記号1070に挟まれた状態で保存されていた。	あり
1072	第十八章(草稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1073	哲学神髓一家言 (草稿)	渡辺国武			数量 5枚 記述法 墨書	あり
1074	哲学新系統一家言 一名 仏教哲学玄 義(草稿)	渡辺国武			数量 4枚 記述法 墨書	あり
1075	哲学神髓一家言一 名 仏教哲学玄義 (草稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1076	哲学新系統一家言 (草稿)	渡辺国武		明治42年3月	数量 2枚 記述法 墨書	あり
1077	帰納哲学ノ四種方 面(草稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1078	哲学之神髓(草 稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1079	哲学之神髓 他 (草稿)	渡辺国武			数量 25枚 記述法 墨書	あり
1080	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「なる場合に至つて居らぬのは」 記述法 墨書	あり
1081	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 6枚 内容 「第十八節 而して第一章で説明した 所の哲学の定義の」 記述法 墨書	あり
1082	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「第一□…□一能所相感」 記述法 墨書 備考 破損	あり
1083	哲学之神髓(草 稿)	渡辺国武			数量 3枚 記述法 墨書	あり
1084	仏教哲学玄義(草 稿)	渡辺国武			数量 3枚 記述法 墨書	あり
1085	仏教哲学玄義(草 稿)	渡辺国武			数量 6枚 記述法 墨書	あり
1086	東西古今哲学神髓 一家言(草稿)	渡辺国武			数量 7枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1087	哲学神髓一家言 (草稿)	渡辺国武			数量 2綴、4枚 内容 哲学神髓講述大意、哲学神髓一家言講述要領 記述法 墨書	あり
1088	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「つな広い意味の哲学で」 記述法 墨書	あり
1089	〔メモ「論理的方面・範疇的方面」〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1090	哲学神髓一家言講述開題(草稿)	渡辺国武			数量 3枚 記述法 墨書	あり
1091	〔メモ「論理的哲学・範疇的哲学」〕	渡辺国武			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1092	哲学神髓一家言 (草稿)	渡辺国武			数量 7枚 記述法 墨書	あり
1093	哲学神髓一家言講述開題(草稿)	渡辺国武			数量 4枚 記述法 墨書	あり
1094	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「らして或は又本哲学系統の根本的原理」 記述法 墨書	あり
1095	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「小引 余少年ノ日志ヲ三種ノ業ニ立ツ」 記述法 墨書	あり
1096	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 「第一章 関係自性」 記述法 墨書	あり
1097	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「科学原理統一論」 記述法 墨書	あり
1098	哲学研究系統図	〔渡辺国武〕			数量 2綴 記述法 墨書	あり
1099	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「第 章 二力ハ一勢力ノ両方面ナリ」 記述法 墨書	あり
1100	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「第 章 二力検覈ノ結果」 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1101	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「第三款 応用編」 記述法 墨書	あり
1102	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 「第一部東洋哲学 第一款印度哲学 第二章印度哲学一般ノ注意」 記述法 墨書	あり
1103	東西古今哲学原理判釈史(草稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1104	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「理ナリ、此ノ如ク言ヘ八」 記述法 墨書	あり
1105	関係哲学綱要 完(草稿)	渡辺国武			数量 2枚 内容 表紙のみ 記述法 墨書	あり
1106	哲学一家言(草稿)	渡辺国武			数量 1枚 内容 表紙のみ 記述法 墨書	あり
1107	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕		明治40年1月	数量 1綴 内容 「小引 関係哲学綱要、東西哲学判釈史、科学原理統一論ノ三書、草稿成ル」 記述法 墨書	あり
1108	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕		明治40年1月	数量 1枚 内容 「小引 関係哲学綱要、東西哲学判釈史、科学原理統一論ノ三書、草稿成ル」 記述法 墨書 備考 請求記号1107の草稿	あり
1109	関係哲学綱要目録(草稿)	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1110	東西哲学判釈史目録(草稿)	渡辺国武			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1111	科学原理統一論目録(草稿)	渡辺国武			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1112	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕		明治40年1月	数量 1枚 内容 「小引 関係哲学綱要、哲学原理判釈史、科学原理統一論ノ三書、草稿成ル」 記述法 墨書 備考 請求記号1107の草稿	あり
1113	鉄衣禪一百則				数量 1枚 内容 禪語録 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1114	第三十則 大随劫火				数量 1枚 内容 禅語録 記述法 墨書	あり
1115	第五十七則 巖陽一物				数量 1枚 内容 禅語録 記述法 墨書	あり
1116	第百則 瑯琊山河				数量 1枚 内容 禅語録 記述法 墨書	あり
1117	哲学一家言 緒言	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1118	哲学一家言 目次	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1119	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 3枚 内容 「鉄衣禅一百則ヲ拳シ畢ツテ謹ンテ読者ニ告ク」 記述法 墨書	あり
1120	〔東帰集一節「夜雨青燈五十年」〕				数量 2枚 記述法 墨書	あり
1121	哲学一家言 目次 (草稿)	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1122	哲学論綱 (草稿)	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
1123	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 15枚 内容 「第三章 主観的認識力及ヒ客観的」 記述法 墨書	あり
1124	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「トシテ直覚的ニ認識スト言ヘリ」 記述法 墨書	あり
1125	日本神道ノ位置 (草稿)	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1126	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 「第十三章 四種理法ト」 記述法 墨書	あり
1127	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 17枚 内容 「第四項 実在及ヒ現象」 記述法 墨書	あり
1128	附録 関係哲学系統図解	〔渡辺国武〕			数量 1綴、1枚 記述法 墨書	あり
1129	跋 (草稿)	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1130	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 「前にも言ふたる如く」 記述法 墨書	あり
1131	哲学神髓綱要一名 仏教玄義・哲学神 髓一家言講述大 旨・哲学神髓一家 言講述要領（草 稿）	〔渡辺国武〕			数量 31枚 記述法 墨書	あり
1132	哲学神髓一家言一 名仏教玄義（草 稿）	〔渡辺国武〕			数量 3枚 記述法 墨書	あり
1133	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「決して偶然にさやうな」 記述法 墨書	あり
1134	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 4枚 内容 「へた所に因れば世の中に」 記述法 墨書	あり
1135	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「著者 識」とのみ記載 記述法 墨書	あり
1136	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「の研究で即ち」 記述法 墨書 備考 朱書	あり
1137	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 3枚 内容 「さて東西古今に」 記述法 墨書	あり
1138	鉄衣禪一百則・二 王禪一百則・鉄衣 禪三十則	〔渡辺国武〕			数量 4枚 記述法 墨書	あり
1139	Le secret de la philosophie Bud dhistique	Kunitake W atanabe (渡 辺国武)			数量 23枚 記述法 タイプ 備考 請求記号1141のフランス語訳草稿	あり
1140	Geheimniss von Buddhistischer philosophie	Kunitake W atanabe (渡 辺国武)			数量 30枚 記述法 タイプ 備考 請求記号1141のドイツ語訳草稿	あり
1141	日英独仏四語対訳 仏教哲学玄義定説	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書	あり
1142	Theorem of the secret of Buddhi cal philosophy	Kunitake W atanabe (渡 辺国武)			数量 29枚 記述法 タイプ 備考 請求記号1141の英訳草稿	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1143 ～ 1167	哲学神髓					あり
1143	小引・目録	〔渡辺国武〕		明治40年	数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1144	送り状草稿	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1145	第1章	渡辺国武			数量 1綴 内容 第1部>緒論>第1章 哲学研究ノ動幾及ヒ順序 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1146	第2章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2章 哲学研覈ノ区分 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1147	第3章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2部 純粹哲学>第3章 純粹哲学研覈方法ノ区分 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1148	第4章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第1款 帰納的研覈>第4章 帰納的研覈ノ四種方面 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1149	第5章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第5章 主観的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり
1150	第6章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第6章 客観的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143～1167は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1151	第7章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第7章 相待的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1152	第8章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第8章 絶待的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1153	第9章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第9章 帰納的研究ノ結果 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1154	第10章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2款 演繹的研究>第10章 演繹的研究ノ四種方面 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1155	第11章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第11章 理法的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1156	第12章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第12章 契機の方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1157	第13章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第13章 表徳的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1158	第14章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第14章 遮情的方面検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1159	第15章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第15章 演繹的研究ノ結果 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1160	第16章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第3款 純粹哲学研究ノ結果> 第16章 純粹哲学的證明ノ終局 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1161	第17章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第3部 応用哲学> 第1款 応用四種哲学ノ起源> 第17章 主観的の四種作用 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1162	第18章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第18章 主観的の四種作用ノ起源 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1163	第19章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第19章 主観的の四種作用終局ノ要求 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1164	第20章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2款 応用四種哲学ノ研究> 第20章 応用四種哲学ノ原理 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1165	第21~24章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第21章 倫理哲学検覈ノ四種要素ノ第22章 形而上学検覈ノ四種要素ノ第23章 審美哲学検覈ノ四種要素ノ第24章 宗教哲学検覈ノ四種要素 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1166	第25~26章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第4部 附論> 第25章 哲学上ニ於ル種々ノ概念ノ第26章 東西古今ニ於ル哲学各系統 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり
1167	附録、哲学神髓系統図解	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号1143~1167は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1168 ～ 1184	哲学一家言俗解					あり
1168	目録	〔渡辺国武〕			数量 1綴 付属資料 括り紐、1点 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1169	開講緒言	〔渡辺国武〕		明治40年	数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1170	第1講	渡辺国武			数量 1綴 内容 第1講 哲学研究の区分に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1171	第2講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2講 主観的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1172	第3講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第3講 客観的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1173	第4講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第4講 相待的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1174	第5～6講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第5講 絶待的方面の検覈に就て／第6講 関係自性に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり
1175	第7講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第7講 理法的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168～1184は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1176	第8講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第8講 契機的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1177	第9講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第9講 表徳的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1178	第10講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第10講 遮情的方面の検覈に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1179	第11講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第11講 応用四種哲学に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1180	第12講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第12講 倫理哲学の研究に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1181	第13講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第13講 形而上学の研究に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1182	第14講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第14講 審美哲学の研究に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1183	第15講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第15講 宗教哲学の研窮に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり
1184	第16講	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第16講 哲学研究全般の結果に就て 記述法 墨書 備考 請求記号1168~1184は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1185 ～ 1203	哲学雑俎					あり
1185	小引	〔渡辺国武〕		明治40年	数量 1綴、2枚 付属資料 括り紐、1点 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1186	目録	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1187	第1章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第1章 一切万有相関論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1188	第2章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第2章 各科学原理統一論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1189	第3章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第3章 仏教八宗哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1190	第4章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第4章 他力教論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1191	第5章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第5章 哲学上四種観察法論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり
1192	第6章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第6章 美的表象論 記述法 墨書 備考 請求記号1185～1203は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1193	第7章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第7章 創造及入涅槃論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1194	第8章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第8章 周易哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1195	第9章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第9章 ヘラクリタス哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1196	第10章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第10章 生存競争哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1197	第11章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第11章 信的作用論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1198	第12章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第12章 仏教目的論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1199	第13章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第13章 孔子倫理哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1200	第14章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第14章 老荘哲学論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1201	第15章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第15章 性善悪論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1202	第16章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第16章 華厳宗哲学分析論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1203	第17章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第17章 純理経験両説論 記述法 墨書 備考 請求記号1185~1203は紐でまとめられていた	あり
1204	哲学一家言	渡辺国武		明治40年	数量 145枚 記述法 墨書 備考 紐でまとめられていた	あり

3. 写真等 (1205  
~1208)

1205	〔欧州外遊写真アルバム〕	〔渡辺国武〕		〔明治34年〕	数量 1冊 内容 明治34年欧州外遊時のものカ 記述法 写真	あり
1206	〔写真〕			明治35年4月19日	数量 1枚 内容 渡辺国武欧州外遊時 記述法 写真	あり
1207	〔写真(肖像)〕				数量 1枚 内容 木枠入りのガラス肖像写真。幕末頃。 記述法 写真(ガラス乾板)	
1208	肖像画(松方正義)				数量 1枚	あり

## 4. 刊行物等 (1209~1217)

1209	改正官員録	博公書院 〔刊〕		明治24年10月2日	数量 1冊 内容 改正増補再販 記述法 印刷[活版]	あり
1210	中央鉄道に対する意見	野口吉十郎 〔著〕、胡桃浜吉 〔刊〕		明治25年12月23日	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり
1211	『統計集誌』第153号	高気一 〔編〕、東京統計協会事務所 〔刊〕		明治27年5月25日	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり
1212	『帝国歳計予算史』第2巻	大蔵省		明治28年5月25日	数量 1冊 内容 印刷局 記述法 印刷[活版]	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1213	改正官員録	内山正如 〔編〕、東京 博文館〔刊〕		明治28年10月 6日	数量 1冊 記述法 印刷[活版]	あり
1214	古き外人の観たる 日本国民性	蜷川新 〔訳〕、拓殖 新報社〔刊〕		大正10年16日	数量 1冊 記述法 印刷[活版] 備考 渡辺千冬が所感文を寄稿。	あり
1215	管内税務一斑	玉造税務署		昭和8年	数量 1点 記述法 印刷[活版]、ペン	あり
1216	史談会速記録・大 蔵大臣の思い出 第1集	大蔵省大臣官 房資料統計管 理官付 財政 史室		〔昭和41年7月 頃〕	数量 1冊 内容 斎藤虎五郎述『渡辺国武について』 記述法 謄写 備考 インタビューは昭和41年7月15日実施	あり
1217	三朝大臣鑑				数量 1帖 内容 第一次伊藤内閣～浜口内閣までの閣僚 の氏名、出身地を網羅した印刷物。 記述法 印刷[活版] 備考 「久野太郎所贈、無辺洞」とあり。無 辺洞は国武の号。	あり

5. 渡辺千冬関係  
(1218～1229)

1218	ハリス書簡 北海 道炭礦汽船会社宛	ハリス(加奈 佗政府貿易事 務官)	北海道炭礦汽 船会社	明治42年12月 14日	数量 1綴 内容 カナダ政府の製鉄業保護政策に関して 書類を貴覧に供す。鋼助成金請求書、鉄鋼製 造奨励法施行細則、鉄鋼製造奨励法、助成金 ヲ受クル物品ノ輸出ニ関スル規定、銑鉄助成 金請求書、引抜円形助成金請求書 他 記述法 墨書	あり
1219	四十二年末本社勘 定監査報告	渡辺千冬(監 査役)	重役会議	明治42年	数量 1綴 内容 北海道炭礦汽船会社監査報告 付属資料 綴じ紐、1点 記述法 墨書 備考 もとは紐で綴じられていた	あり
1220	『政友』第138号	立憲政友会		明治45年2月2 0日	数量 1冊 内容 渡辺千冬「外遊所感(下)」所収 記述法 活版	あり
1221	英国直接国税税率 一覧			昭和5年7月	数量 1綴 記述法 謄写 用紙 対独賠償専門委員会員用紙	あり
1222	歌で憲法	笹岡末吉		昭和7年6月15 日	数量 1冊 内容 子爵渡辺千冬校訂。財団法人社会教育 協会刊。民衆文庫第64篇。笹岡末吉の謹呈 の付箋を挟み込む。 記述法 印刷[活版]	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1223	東京日日新聞	東京日日新聞		昭和8年2月11日	数量 1枚 内容 浅間山火山観測所設置運動に関する記事。渡辺千冬は賛成人に名を連ねる。 記述法 印刷[活版]	あり
1224	『婦人之友』第3巻第1号	婦人之友社		昭和13年1月1日	数量 1冊 内容 座談会「第一歩をどこから始めるか」に渡辺千冬が列席。 記述法 印刷[活版]	あり
1225	「軽井沢で聞いた話」(『野鳥』昭和15年2月号掲載随想切抜き)	渡辺千冬		昭和15年	数量 2枚 記述法 印刷	あり
1226	『諏訪郷友会報』第35号	諏訪郷友会事務所		昭和15年7月20日	数量 1冊 内容 渡辺千冬の追悼記事あり。千冬は財団法人諏訪郷友会の会長。 記述法 活版	あり
1227	「子爵渡辺千冬閣下」(『諏訪郷友会報』第35号抜刷)	諏訪郷友会		〔昭和15年7月20日〕	数量 1冊 内容 請求記号1226の渡辺千冬追悼記事部分の抜き刷り。 記述法 活版	あり
1228	〔日本製鋼所業務の箇条書き〕				数量 1綴 内容 重要ナル官庁ノ交渉、官庁往復二付キ、会計事務二付キ、販売事務二付キ 記述法 墨書 備考 株式会社日本製鋼所東京出張所罫紙	あり
1229	過爐銀				数量 1綴 記述法 墨書 備考 株式会社日本興業銀行罫紙	あり

**2017年追加分  
(1501~2369)**

1. 渡辺国武宛書簡(1501~2074)

1501	青柳嘉門書簡 渡辺国武宛	青柳嘉門	渡辺国武	〔明治29年〕9月3日	数量 1通 内容 陸軍士官となるまで学僕として採用を請う。 記述法 墨書 備考 封筒あり	あり
1502	秋田雅撫書簡 渡辺国武宛	秋田雅撫	渡辺国武	〔明治27年〕1月25日	数量 1通 内容 私身上の件。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1503	秋元興朝書簡 渡辺国武宛	秋元興朝	渡辺国武	〔明治43年〕8月6日	数量 1通 内容 子爵議員補欠選挙に華族談話会から渡辺を推薦したい。 記述法 墨書 備考 封筒あり	あり
1504	秋元興朝書簡 渡辺国武宛	秋元興朝	渡辺国武	8月6日	数量 1通 内容 補欠の件、本会今後の才幹等につき面会を希望。 記述法 墨書 備考 封筒あり	あり
1505	遊野貞方書簡 渡辺国武宛	遊野貞方	〔渡辺国武〕	4月30日	数量 1通 内容 銀行の件。社格の件。 記述法 墨書 備考 封筒あり	あり
1506	安達道人書簡 渡辺国武宛	安達道人	無辺依禪(渡辺国武)	4月15日	数量 1通 内容 出京につき揮毫の依頼。 記述法 墨書 備考 請求記号2060の封筒に同封	あり
1507	飯田武郷書簡 渡辺国武宛	飯田武郷	渡辺国武	明治32年2月4日	数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ	あり
1508	石黒忠憲書簡 渡辺国武宛	石黒忠憲	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治24年12月20日	数量 1通 内容 井上毅病氣療養につき。 記述法 墨書 用紙 便箋 備考 封筒あり	あり
1509	石黒忠憲書簡 山県有朋宛	〔石黒忠憲〕	〔山県有朋〕	〔明治24年〕12月12日	数量 1通 内容 井上毅病氣療養につき忠告を乞う。「此寒時に朝早く出行と申すは何等の事ぞ」。 記述法 墨書 備考 請求記号1508の封筒に同封。	あり
1510	伊集院兼善書簡 渡辺国武宛	伊集院兼善	小池国武(渡辺国武)	〔明治9年〕12月28日	数量 1通 内容 高知県参事拜命につき挨拶。 付属資料 「[28]伊集院兼善(176)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1511	伊豆島宝昌書簡 渡辺国武宛	伊豆島宝昌(大阪郵便電信局)	渡辺国武	明治28年3月23日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1512	板垣退助書簡 渡辺国武宛	板垣退助(内務大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	明治29年9月9日	数量 1枚 内容 自由党・進歩党の動静等(静岡県、福岡県、島根県、福島県)を伝える機密報告写し。 記述法 印刷〔謄写(手書)〕	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1513	市川□宇書簡 渡辺国武宛	市川□宇	渡辺国武	12月4日	数量 1通 内容 小生も間接賛成説を主張。 記述法 墨書	あり
1514	伊藤慶四郎書簡 渡辺国武宛	伊藤慶四郎	無辺先生(渡辺国武)	2日	数量 2枚 内容 大田原の長地農場の状況につき伺い。「大正二年度水田不作二付小作料ノ件」。「大正三年度ヨリ小作料改定ノ件」。 付属資料 大正2年度不作調、2枚 記述法 墨書 用紙 野紙 備考 請求記号2023の封筒に同封。	あり
1515	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	小池国武(渡辺国武)	〔明治11-12年〕	数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1516	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文(内閣総理大臣)〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕1月4日	数量 1通 内容 任用令云々はいまだ着手には至り申さず。北海道10年経営云々。 付属資料 「[5]伊藤博文(68)～(106)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1517	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕1月30日	数量 1通 内容 昨日陸奥、河野両大臣来訪、愚見は商議を試みざる以前として取消し。 記述法 墨書	あり
1518	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕7月6日	数量 1通 内容 陸海両省の要求書云々。「十中八九戦端ノ相啓ケ候事ハ」期し難し。「突然之要求ハ難許容段申聞置候」。いづれ両3日中に閣議で治定いたしたし。 記述法 墨書	あり
1519	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕7月30日	数量 1通 内容 昨夜松方来談、二ヶ条の気付あり。一、10万円を抛ちロンドンタイム其他ノ新聞を利用すること。二、鉄道架設借免状の年期延長。 記述法 墨書	あり
1520	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕8月1日	数量 1通 内容 外務機密金の事、早速上奏取りはからうべし。朝鮮内政改革につき大鳥派遣。 記述法 墨書	あり
1521	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕1月17日	数量 1通 内容 別紙陸軍次官より落手。買揚代価減却の件。 付属資料 封筒、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1522	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕1月21日	数量 1通 内容 川田小一郎の回答別紙の通り。第一軍へ5百万円云々の事は、一時に大金を要すべことではないので、大本営にて相談の上減却せしむべし。 記述法 墨書	あり
1523	川田小一郎書簡 伊藤博文宛	川田小一郎	伊藤博文	〔明治27年〕1月21日	数量 1通 内容 莊田等の一同罷り越し示談中。事情万々奉恐察。 記述法 墨書 備考 請求記号1522の別紙。請求記号1522の封筒に同封。	あり
1524	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治28年〕2月4日	数量 1通 内容 別紙川田総裁書簡を一読だれたい。朝鮮差遣の人物選定につき。末松は少々差し支えがあるので然るべき人物を見立てて欲しい。 記述法 墨書	あり
1525	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治29年〕8月28日	数量 1通 内容 伊藤、板垣の辞表提出につき説明。昨日各大臣会合にて一致協同にいたらず、やむをえず辞職を決意。 記述法 墨書	あり
1526	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	渡辺国武	〔明治29年〕8月28日	数量 1通 内容 辞表落手。明朝は黒田伯へ臨時総理仰せ付けのはず。 記述法 墨書	あり
1527	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	渡辺国武	〔明治33年〕8月24日	数量 1通 内容 明日紅葉館御来館を乞う。 付属資料 〔立憲政友会の辞及趣旨要領九項目〕、2通(蒞弱版、明治33年8月25日付) 記述法 墨書	あり
1528	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	渡辺国武	〔明治33年〕9月4日	数量 1通 内容 鶴原定吉、小栗富次郎政友会創立委員加入云々。 記述法 墨書	あり
1529	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治33年〕1月2日	数量 1通 内容 帰京延引。志賀重昂来訪、増税論につき渡辺の意見を承りたし。 記述法 墨書	あり
1530	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治33年〕1月2日	数量 1通 内容 志賀重昂増税論意見云々。当期の議会にて財政上面倒なる問題は増税と海軍の製鉄問題。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1531	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治33年〕1月14日	数量 1通 内容 鮫島書記官長を呼び寄せ明後16日集会。海軍大臣増税意見。蔵原へ別封1千円お取り計らいを乞う。尾崎・望月へは小子から直接取り計らう。 記述法 墨書	あり
1532	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治33年〕1月24日	数量 1通 内容 協議委委員増加の件、栗原亮一官房長辞退 記述法 墨書	あり
1533	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治33年〕1月26日	数量 1通 内容 井上伯御訪問の件につき、京外御出遊の前に一回面晤し、増税の必要等につき充分御談示下されたし。 記述法 墨書	あり
1534	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治34年〕1月21日	数量 1通 内容 増税理由書、お引き直しの件承知。 記述法 墨書	あり
1535	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文(内閣総理大臣)	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月8日	数量 1通 内容 文部大臣起草の奏文と伊東起草の奏文について。「此両文積消両極端二馳候様覚候間、万一閣下之洪量ヲ以三傑御同席二而御商議相成得見、其帰八他之閣僚二於テモ別二異議有之間布歟ト奉存候」。 記述法 墨書	あり
1536	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月18日	数量 1通 内容 議会開会の前日、20日までに帰京を乞う。 記述法 墨書	あり
1537	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月9日	数量 1通 内容 華族世襲財産法中財産種類の制限廃止を定めた法案提出につき宮内大臣へ照会。 記述法 墨書	あり
1538	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月23日	数量 1通 内容 出京の上早速面会すべし。 記述法 墨書	あり
1539	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武〕	2月24日	数量 1通 内容 田中出京。 記述法 墨書 備考 請求記号1538の封筒に同封。	あり
1540	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大臣)〕	2月26日	数量 1通 内容 今日出京にても到底効能なし。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1541	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月27日	数量 1通 内容 昨夜面会、事情を話す。 記述法 墨書	あり
1542	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	3月12日	数量 1通 内容 只今各元老来会中のため細答できず、悪しからず。 記述法 墨書	あり
1543	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	3月30日	数量 1通 内容 貴見相伺いたし。難関打破はすこぶる至難。 記述法 墨書	あり
1544	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	4月11日	数量 1通 内容 本日元老集会、昨日の談話を陳述、各々考慮を尽くすことに。閣議案は次の会議にて評議。 記述法 墨書	あり
1545	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	4月15日	数量 1通 内容 法律翻訳の異同のため遷延。法典調査会に質問せしむることに取決め、同大臣より質疑書を落手。数日のうちに決定。 記述法 墨書	あり
1546	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武〕	5月16日	数量 1通 内容 目下の形勢については小生も夙夜憂慮にたえず。 付属資料 封筒(「伊藤公書翰、蔵原惟詠氏へ贈ルベキモノ」とあり)、1点 記述法 墨書	あり
1547	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文(内閣総理大臣)	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	5月24日	数量 1通 内容 山口県石代請願につき委員会開催の場合は、同会出席を乞う。 記述法 墨書	あり
1548	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	7月18日	数量 1通 内容 予算案拝読。午後拝晤相願いたし。 記述法 墨書	あり
1549	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	8月12日	数量 1通 内容 明日各大臣会同、大略取極。 記述法 墨書	あり
1550	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武〕	8月14日	数量 1通 内容 目下協議、抑揚操縦充分ならず面倒にて小生には不適當。西園寺、加藤、都筑のこと。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1551	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	8月24日	数量 1通 内容 大阪金融のことにつき益田孝ら昨日来訪。日本銀行に何とか融通の工夫をお願いしたいが、尊考いかん。公債募集の件。 記述法 墨書	あり
1552	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	10月18日	数量 1通 内容 概算書迅速調製の旨承知。閣議決定の手続き。 記述法 墨書	あり
1553	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	10月20日	数量 1通 内容 剰余金処分の方途、御示を謝す。閣議紛擾。無益の討議にあらずと信ず。 記述法 墨書	あり
1554	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	11月6日	数量 1通 内容 尊翰接取、明後日閣議開催。 記述法 墨書	あり
1555	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	11月13日	数量 1通 内容 怪我見舞い。今夕閣議開催。決算報告云々につき水野遵意見書。 記述法 墨書	あり
1556	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	12月28日	数量 1通 内容 憲法上財政に関する部分の御意見書落手。 記述法 墨書	あり
1557	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	〔伊藤博文〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	23日	数量 1通 内容 貴書拝読、いずれ帰京の上商議を尽くし取り決めたし。 記述法 墨書	あり
1558	伊藤博文書簡 渡辺国武宛	伊藤博文	渡辺国武		数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1559	伊東巳代治書簡 渡辺国武宛	伊東巳代治	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕5月6日	数量 1通 内容 貴族院事務所修繕費を第二予備金から支出の件。 記述法 墨書	あり
1560	伊東巳代治書簡 渡辺国武宛	伊東巳代治	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕5月31日	数量 1通 内容 論説投稿の件。ご論旨間然する所なし、国民新聞、国会新聞、又は日本新聞内へ今日中に送付してみては。 付属資料 5月31日付東京日々新聞に掲載された渡辺の論説に対する感想、1通 記述法 墨書	あり
1561	伊東巳代治書簡 渡辺国武宛	伊東巳代治	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	8月1日	数量 1通 内容 閣僚近状。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1562	伊東巳代治書簡 渡辺国武宛	伊東巳代治	渡辺国武	8月24日	数量 1通 内容 伊藤侯福井行延期の件。皇室制度取調局総裁の件。 付属資料 「[35]伊東巳代治(254)～(257)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1563	稲垣満次郎書簡 渡辺国武宛	稲垣満次郎 (東邦協会幹事長)	渡辺国武	明治29年1月25日	数量 1通 内容 東京駐劄清国全権公使との懇親会開催につき招待。 記述法 タイプ	あり
1564	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治25年〕1月11日	数量 1通 内容 25年度追加予算委員云々。 付属資料 「[11]井上馨(136)～(146)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1565	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕7月6日	数量 1通 内容 百十銀行の件。6月15日実際資産を以て閉店の案と、現在資産を以て営業継続の将来と見込勘定を立てたので相談したい。 付属資料 (1) 第百十国立銀行資産調書、1冊 / (2) 現今ノ資産ニテ直ニ閉店スルモノト見做シタル計算、1枚。 記述法 墨書	あり
1566	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	渡辺国武	〔明治26年〕1月21日	数量 1通 内容 百十銀行の始末につき報告。定款改正は別冊の通り。株主等自ら議決して当時の頭取木梨へ委任の都合。 記述法 墨書	あり
1567	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武〕	〔明治33年〕8月23日	数量 1通 内容 小生入党不利益なる次第。第一、入党せず地方の党员を監視、新党の害を排除したい。第二、実業者のとりまとめに尽力したい。 記述法 墨書	あり
1568	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	渡辺国武	〔明治34年〕1月8日	数量 1通 内容 総予算書及北清事変につき日清貿易に波及したる計表拝受。 記述法 墨書	あり
1569	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月6日	数量 1通 内容 銀行職員任期の件につきご配慮を煩わし感謝。 記述法 墨書	あり
1570	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月10日	数量 1通 内容 地価修正委員会につき報告。「榎村撤回論を把持候由、今朝出院之上内談」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1571	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月15日	数量 1通 内容 明朝政府委員集合。 記述法 墨書	あり
1572	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月15日	数量 1通 内容 閣議順序についての草案のお礼。 記述法 墨書	あり
1573	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	渡辺国武(大蔵大臣)	3月11日	数量 1通 内容 計算書落掌。 記述法 墨書	あり
1574	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	〔渡辺国武〕	11月16日	数量 1通 内容 各地方水害蓄積方法につき。 記述法 墨書	あり
1575	井上馨書簡 渡辺国武宛	〔井上馨〕	渡辺国武	11月24日	数量 1通 内容 炭鋤株一件。 記述法 墨書	あり
1576	井上馨書簡 渡辺国武宛	井上馨	渡辺国武	19日	数量 1通 内容 明朝伊東氏とともに参邸、それまでに査定案取調べを願う。後藤伯へも連絡。 付属資料 (1) 追伸、1枚 / (2) 「[11]井上馨146-(3)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1577	井上角五郎書簡 井上馨宛	井上角五郎	〔井上馨〕	11月24日	数量 1通 内容 炭鋤株一件。 記述法 墨書 備考 請求記号1575の封筒に同封。	あり
1578	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	渡辺国武	〔明治20年〕1月7日	数量 1通 内容 憲法条議拝見。敬服のほか他事なし。 記述法 墨書	あり
1579	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治21年〕1月3日	数量 1通 内容 地租滞納処分案奉呈。 記述法 墨書	あり
1580	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治21年〕1月11日	数量 1通 内容 未納処分起案並参考書類の件。御一見後返却されたし。 記述法 墨書	あり
1581	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(主計局長)〕	〔明治21年〕9月12日	数量 1通 内容 会計法云々。支那通弁の人御需要これあるまじきや。 記述法 墨書	あり
1582	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(主計局長)〕	〔明治21年〕9月13日	数量 1通 内容 議院法は速やかに枢密院議に付せられた。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1583	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治21年〕10月26日	数量 1通 内容 会計法云々。予算不足の際の措置や決算についての疑問。 記述法 墨書	あり
1584	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕2月15日	数量 1通 内容 会計法五十三条の義務経費科目につき連絡されたし。 記述法 墨書	あり
1585	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	渡辺国武	〔明治22年〕12月28日	数量 1通 内容 憲法条議意見書の件。秋田県収税長岡次郎太郎身上の件。 記述法 墨書	あり
1586	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治23年〕7月9日	数量 1通 内容 予算の款項について。 記述法 墨書	あり
1587	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治23年11月か24年2月〕	数量 1通 内容 穩和論云々。 記述法 墨書	あり
1588	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治23年〕12月30日	数量 1通 内容 地租論と節減論云々。穩和派云々。 記述法 墨書	あり
1589	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕1月4日	数量 1通 内容 議会対策について。大同派の人名昨日までに中村弥六、牧の兩人まで報知の約束。 記述法 墨書	あり
1590	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月8日	数量 1通 内容 議会対策について。姑息の智計、朝四暮三の術は政府の拙劣を示すに過ぎず。 記述法 墨書	あり
1591	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕1月9日	数量 1通 内容 地租軽減、営業税、政費節減云々。老台まで右の内決にご同意ではもはや何の望みもこれなし、なおご一考くだされたし。 記述法 墨書	あり
1592	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月11日	数量 1通 内容 仏国備荒金之法につき。政府と議院の関係。 付属資料 「備荒儲金」、1点 記述法 墨書	あり
1593	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕1月14日	数量 1通 内容 憲法67条の解釈について。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1594	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕1月20日	数量 1通 内容 会計法につき河島質問に対する回答。別紙の通り。 付属資料 会計法抜粋、2枚 記述法 墨書	あり
1595	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月21日	数量 1通 内容 政党の動静。自由党破裂して査定案いよいよ少数。 記述法 墨書	あり
1596	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月1日	数量 1通 内容 文書による大臣回答について。 記述法 墨書	あり
1597	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月8日	数量 1通 内容 憲法政治と与論について。憲法政事の原則は公開にあり。 記述法 墨書	あり
1598	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	渡辺国武	〔明治24年〕2月22日	数量 1通 内容 憲法第67条について。小生はご意見に対し不幸にもあくまで賛成できず。 付属資料 (1) 別冊、5枚／(2) 「憲法第六十七条二関スル意見」、1部 記述法 墨書	あり
1599	差出人不明書簡 井上毅宛	〔差出人不明〕	〔井上毅〕	〔明治24年〕2月23日	数量 1通 内容 写。自由党分裂の件。自由党の一部、三崎、片岡ら22名は本日我々に同意の見込み。 記述法 墨書 備考 差出人記載箇所が切り取られている	あり
1600	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月23日	数量 1通 内容 大成、国民、分裂派云々。 記述法 墨書	あり
1601	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月28日	数量 1通 内容 大成、国民云々。大成、国民、無所属にて120人は政府同意の案に起立すべしといえども勝算覚束なし。 付属資料 林田亀太郎書簡 井上毅宛(2月28日)、1枚 記述法 墨書	あり
1602	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕1月24日	数量 1通 内容 官制改正、政費節減云々。 記述法 墨書	あり
1603	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月2月10日	数量 1通 内容 査定案不同意につき。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1604	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月16日	数量 1通 内容 予算会議委員会云々。 記述法 墨書	あり
1605	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月19日	数量 1通 内容 解散云々。井上の病気、休養について。 記述法 墨書	あり
1606	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月22日	数量 1通 内容 オクカシオン之事。今朝総理と談合。 記述法 墨書	あり
1607	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕1月9日	数量 1通 内容 三浦村にて静養。陸軍への答示。 記述法 墨書	あり
1608	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕1月10日	数量 1通 内容 夏期議会に提出さるべき新事業には、一々詳明にして多数の感情を引くべき理由書が欲しい。 記述法 墨書	あり
1609	井上毅意見書	井上毅	渡辺国武	明治24年1月1日	数量 1通 内容 夏期議会の議案について。鉄道治水。 記述法 墨書	あり
1610	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕1月13日	数量 1通 内容 陸軍予算につき。 付属資料 自由党宣言書についての書簡、1通 記述法 墨書	あり
1611	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕1月16日	数量 1通 内容 大磯小田原へ専价派遣。「御帰と行違二而尾崎より之使来り、別紙を携帯候」。 付属資料 尾崎三良書簡 井上毅宛(1月15日)、1通 記述法 墨書	あり
1612	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕1月24日	数量 1通 内容 第2回衆議院議員総選挙の対策について。なるべく選挙前に何かめざましき発令ありて政府の公明正大の気象を表示したい。 記述法 墨書	あり
1613	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕2月24日	数量 1通 内容 鉄道契約の件。議会提出案につきパテルノストロ氏質問の件。 記述法 墨書	あり
1614	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕2月27日	数量 1通 内容 製鋼所、軍艦製造費云々。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1615	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕3月1日	数量 1通 内容 新議員の集合も発起者の辺はつまく行きそう。 付属資料 野口勝一領収書（明治25年2月8日）、1枚 記述法 墨書	あり
1616	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕3月18日	数量 1通 内容 佐藤里治氏より借り受けの鉄道案問題の本、御一読を乞う。これまで井上鉄局長と打ち合わせを試みたが、去年以来食い違えばかりで困却。 記述法 墨書	あり
1617	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕3月24日	数量 1通 内容 地価修正、鉄道会議、北海道処分。 記述法 墨書	あり
1618	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕4月29日	数量 1通 内容 地価修正、鉄道論。佐藤里治は先日御省へお尋ねしたがご面晤を得ずとて拙宅に参上。 記述法 墨書	あり
1619	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕5月20日	数量 1通 内容 明後早朝、平山書記官長宅にて会いたし。 記述法 墨書	あり
1620	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕6月16日	数量 1通 内容 熊本誤納金一条。遷延のあまり一地方の物議となっているので知事も困却、早くたち切るのが上策。 記述法 墨書	あり
1621	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武（大蔵次官）〕	〔明治25年〕6月27日	数量 1通 内容 政府の地価修正案につき。 記述法 墨書	あり
1622	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武（大蔵次官）〕	〔明治25年〕6月28日	数量 1通 内容 予算問題につき。明記法を付すべし。 記述法 墨書	あり
1623	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武（大蔵次官）〕	〔明治25年〕7月18日	数量 1通 内容 熊本誤納金一件。他の口と判然してご処決するのが至公至正である。 記述法 墨書	あり
1624	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武（大蔵次官）〕	〔明治25年〕7月28日	数量 1通 内容 自由党の政務調査書につき。鉄道委員選任につき。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1625	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	渡辺国武	〔明治25年〕8月12日	数量 1通 内容 大蔵大臣就任を祝す。 記述法 墨書	あり
1626	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕8月23日	数量 1通 内容 北地之件につき。 記述法 墨書	あり
1627	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	俠禅先生(渡辺国武)	〔明治25年〕11日	数量 1通 内容 北海道処分、地租の件。 記述法 墨書	あり
1628	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕3月21日	数量 1通 内容 一事件につきご意見伺いたし。 記述法 墨書	あり
1629	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕11月1日	数量 1通 内容 教育費補助につき。 記述法 墨書	あり
1630	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕11月3日	数量 1通 内容 教育費補助の一条につき。 記述法 墨書	あり
1631	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕11月4日	数量 1通 内容 教員年功加俸法案につき。 記述法 墨書	あり
1632	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕11月14日	数量 1通 内容 実業教育補助法案につき。教員加俸法のこと。 記述法 墨書	あり
1633	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕4月1日	数量 1通 内容 工科大学建築費の件。何とかいたしたし。 記述法 墨書	あり
1634	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕5月25日	数量 1通 内容 実業教育補助法案可決。議院の最上裁判権につき。 記述法 墨書	あり
1635	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕7月19日	数量 1通 内容 文部省予算につき。「文部省積年之減額独り其極二達候事御察知之通二候へハ、弱ヲ扶クル之俠義二訴フル外無之」。 記述法 墨書	あり
1636	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕8月29日	数量 1通 内容 辞表提出につき。史料編纂事業の件。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1637	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	1月27日	数量 1通 内容 共同運輸会社補給の件。意見伺いたし。 記述法 墨書	あり
1638	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	3月17日	数量 1通 内容 首相は今晚差し支えあり。 付属資料 漢詩文、1通 記述法 墨書	あり
1639	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武(主計局長)〕	3月27日	数量 1通 内容 先日大蔵大臣面晤の節、愚言申し上げ置き候。 付属資料 「[32]井上毅(180)～(245)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1640	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	俠禅大士(渡辺国武)	7月21日	数量 1通 内容 壮士一件。「今日彼ノ辞職勧告之壮士永田丁へ来ル、佐藤書記官叱責一喝」。 記述法 墨書	あり
1641	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	4日	数量 1通 内容 岡採用の件。 記述法 墨書	あり
1642	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	俠禅大閣(渡辺国武)	26日	数量 1通 内容 今晚首相へ遣わず書面、内見に供す。 記述法 墨書	あり
1643	井上毅書簡 渡辺国武宛	〔井上毅〕	〔渡辺国武〕	27日	数量 1通 内容 井上伯の出席、解散の話につき伺い。 記述法 墨書	あり
1644	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕		数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1645	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕		数量 1通 内容 漢詩。 記述法 墨書	あり
1646	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕		数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1647	井上毅書簡 渡辺国武宛	井上毅	〔渡辺国武(大蔵次官)〕		数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1648	猪股勲書簡 渡辺国武宛	猪股勲	無辺先生(渡辺国武)	3月6日	数量 1通 内容 上京の際の礼状。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1649	岩倉具定書簡 渡辺国武宛	岩倉具定	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕1月17日	数量 1通 内容 軍事公債の件。「五万石以上重モナル分八悉皆届出相成承知仕候也」。 付属資料 「[21]岩倉具定(169)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1650	岩崎弥太郎書簡 渡辺国武宛	岩崎弥太郎	〔小池国武(渡辺国武)〕	11月30日	数量 1通 内容 名東高知往復汽船の件。 付属資料 「[45]岩崎弥太郎(273)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1651	岩村高俊書簡 渡辺国武宛	岩村高俊	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治10年〕6月6日	数量 1通 内容 高知県下土族景況を問う。 付属資料 「[23]岩村高俊(171)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1652	岩村高俊書簡 渡辺国武宛	岩村高俊	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕8月23日	数量 1通 内容 内務司法の手配により立志社員若干名拘引、東京へ護送とりはからい。 記述法 墨書	あり
1653	岩村通俊書簡 渡辺国武宛	岩村通俊	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕3月9日	数量 1通 内容 13日ご高話承りたし。 付属資料 「[22]岩村通俊(170)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1654	上田恭徳書簡 渡辺国武宛	上田恭徳	渡辺国武	明治29年9月18日	数量 2枚 内容 漢詩2題。 記述法 墨書	あり
1655	鵜飼耻軒書簡 渡辺国武宛	鵜飼恥軒	渡辺国武	〔明治25年〕10月25日	数量 1通 内容 御高作を賜り謝し奉り候。 付属資料 (1) 漢詩文、1枚／(2) 「[60]鵜飼耻軒(300~301)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1656	榎本武揚書簡 渡辺国武宛	榎本武揚	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治26年4月29日	数量 1通 内容 大蔵省側代言人に加藤祖一を推薦。「頃日新聞紙上二三井と大蔵省二係ル訴訟一件二付小生之友人加藤祖一事貴省之代言二御採用被下間敷哉」。 付属資料 (1) 法律事務所明法館広告、1枚／(2) 「[16]榎本武揚(161)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1657	大久保利通書簡 渡辺国武宛	大久保利通	小池国武（渡 辺国武）	〔明治10年〕8 月9日	数量 1通 内容 警部、巡査差出の件。林有造他拘引の 件。 記述法 墨書 備考 請求記号1658の内封筒に同封。	あり
1658	〔大久保利通書簡 に関する遣り取 り〕					あり
1658- 1	大久保利武書簡 渡辺千冬宛	大久保利武	渡辺千冬	44380	数量 1通 内容 書簡の送付に深謝。謄写のうえ返却 す。 記述法 墨書	あり
1658- 2	大久保利通書簡 渡辺国武宛	〔大久保利 通〕	小池国武（渡 辺国武）	44436	数量 1通 内容 12時半頃よりお出でござられたし。 記述法 墨書	あり
1659	大隈重信書簡 渡 辺国武宛	大隈重信（大 蔵卿）	小池国武（渡 辺国武）（高 知県権令）	明治11年2月1 2日	数量 1通 内容 酒類税印紙税調査の件。歳入不足の幾 分を補助致すべし。 付属資料 「[44]大隈重信（272）」と記載 されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1660	大槻快尊・五十嵐 光竜書簡 渡辺国 武宛	大槻快尊・五 十嵐光竜	〔渡辺国武〕		数量 1通 内容 秘書拝借の件。 記述法 墨書	あり
1661	大山巖書簡 渡辺 国武宛	大山巖	〔渡辺国武 （大蔵大 臣）〕	7月26日	数量 1通 内容 軍事費の順序云々。 付属資料 「[48]大山巖（276）」と記載さ れたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1662	緒方道井書簡 渡 辺国武宛	緒方道井	〔渡辺国武〕	3月7日	数量 1通 内容 来たる日曜日は公暇に付参趨拜見つか まつりたし。 記述法 墨書	あり
1663	小川平吉書簡 渡 辺国武宛	小川平吉	渡辺国武	明治43年10月 22日	数量 1枚 内容 ナイアガラの滝の感想。 記述法 ペン 用紙 葉書	あり
1664	小川平吉書簡 渡 辺国武宛	〔小川平吉〕	〔渡辺国武〕	6日	数量 1通 内容 韓国にて活動中の嶺八郎を紹介。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1665	尾崎行雄書簡 渡辺国武宛	尾崎行雄	渡辺国武	1月30日	数量 1通 内容 三重銀行の役員、播磨屋久治に御料局内蔵頭を紹介するよう依頼。 付属資料 (1) 播磨屋の名刺、1枚 / (2) 「[17]尾崎行雄(162)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1666	海江田信義書簡 渡辺国武宛	海江田信義	渡辺国武(大蔵次官)	〔明治24年〕5月21日	数量 1通 内容 非職年俸金の件。 付属資料 「[20]海江田信義(168)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1667	海軍副官書簡 渡辺国武宛	(海軍副官)	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治29年3月3日	数量 1綴 内容 高雄艦長報告抜萃。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
1668	香川敬三書簡 渡辺国武宛	香川敬三(皇后宮大夫)	渡辺国武(大蔵大臣)	明治28年3月10日	数量 1通 内容 皇后よりお菓子下賜。 記述法 墨書	あり
1669	香川敬三書簡 渡辺国武宛	〔香川敬三〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月18日	数量 1通 内容 国勢一斑のお礼。 記述法 墨書	あり
1670	香川敬三書簡 渡辺国武宛	香川敬三	渡辺国武(大蔵大臣)	3月10日	数量 1通 内容 皇后広島行啓ご延引につき報告。 記述法 墨書	あり
1671	勝貞書簡 渡辺国武宛	勝貞	渡辺国武	8月13日	数量 1通 内容 委託証状お届けに深謝。選挙当日は不肖も出席 記述法 墨書	あり
1672	勝安芳書簡 渡辺国武宛	勝安芳(勝海舟)	〔渡辺国武〕	7月29日	数量 1通 内容 御国産の水蕎麦の恵投に感謝。 記述法 墨書	あり
1673	勝安芳書簡 渡辺国武宛	勝安芳(勝海舟)	渡辺国武		数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1674	加藤弘之書簡 渡辺国武宛	加藤弘之	〔渡辺国武(次官)〕	3月20日	数量 1通 内容 御面会致したし。 付属資料 「[31]加藤弘之(179)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1675	川田小一郎書簡 渡辺国武宛	川田小一郎	〔渡辺国武〕	4月18日	数量 1通 内容 明後日参上つかまつりたし。 付属資料 「[63]川田小一郎414」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1676	北垣国道書簡 渡辺国武・谷宛	〔北垣国道〕	〔小池国武(渡辺国武)(県令)〕・谷(少■)	〔明治11年〕10月5日	数量 1通 内容 愛国社大会の状況につき報告。「余リゴテゴテシタルコト、且ツ此度ハ各県ノ委員タル者モ親シク板垣ニ面会シテ少シク見識アル者ハ愚ナル板垣氏ノ評ヲ下セリ」。 付属資料 「[56]北垣国道(291~292)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1677	北垣国道書簡 渡辺国武宛	北垣国道	侠禅賢台(渡辺国武)	〔明治25年〕7月11日	数量 1通 内容 黒幕内閣成立につき御配神を乞う。郡村廻りの予定につき報告。 記述法 墨書	あり
1678	北沢宇忠書簡 渡辺国武宛	北沢宇忠(長野県平民)	渡辺国武	〔明治40年〕3月7日	数量 2枚 内容 江藤新平発見の金鉢について。 記述法 墨書	あり
1679	北代正臣書簡 渡辺国武宛	〔北代正臣〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	2月8日	数量 1通 内容 内務本省か神奈川か東京府への就官を依頼。 記述法 墨書	あり
1680	北代正臣書簡 渡辺国武宛	〔北代正臣〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	12月7日	数量 1通 内容 ご面会を乞う。 記述法 墨書	あり
1681	北村重頼書簡 渡辺国武宛	北村重頼(陸軍中佐)	〔小池国武(渡辺国武)(高知県権令)〕	明治10年6月14日	数量 1通 内容 昨13日、高知県に赴任。 付属資料 「[37]北村重頼(260-261)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1682	北村重頼書簡 渡辺国武宛	北村重頼	〔小池国武(渡辺国武)〕	6月18日	数量 1通 内容 近況報告。「何も異事無之」。 記述法 墨書	あり
1683	北村八郎書簡 渡辺国武宛	〔北村八郎カ〕	渡辺国武	4月11日	数量 1通 内容 面会を求める手紙。 記述法 墨書	あり
1684	金原裕書簡 渡辺国武宛	金原裕	渡辺国武	〔明治29年〕3月2日	数量 1通 内容 皆吉縁談の件。 記述法 墨書	あり
1685	金原裕書簡 渡辺国武宛	金原裕	渡辺国武	〔明治30年〕12月13日	数量 1通 内容 相美氏の病氣、診察について。 記述法 墨書	あり
1686	金原明善書簡 渡辺国武宛	金原明善	渡辺国武	4月18日	数量 1通 内容 遠州土産の件。染筆の件。 記述法 墨書 備考 請求記号2060の封筒に同封。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1687	久野謙次郎書簡 渡辺国武宛	久野謙次郎	〔小池国武 (渡辺国 武)〕	4月24日	数量 1通 内容 欧州情勢など。 記述法 墨書	あり
1688	久野謙次郎書簡 渡辺国武宛	久野謙次郎	渡辺国武	11月1日	数量 1通 内容 近況報告。横浜から神戸までの船旅について。 記述法 墨書	あり
1689	倉田松濤書簡 渡 辺国武宛	倉田松濤	〔渡辺国武〕	明治42年6月1 9日	数量 1通 内容 病気見舞い。鯨の燻製を別封。 記述法 墨書	あり
1690	倉田松濤書簡 渡 辺国武宛	倉田松濤	渡辺無辺(渡 辺国武)	大正4年12月2 8日	数量 1通 内容 病気見舞い。近況報告、胃潰瘍にかか り入院。俳書を別封。 記述法 墨書	あり
1691	倉田松濤書簡 渡 辺国武宛	倉田松濤	〔渡辺国武〕	3月17日	数量 1通 内容 揮毫の依頼。 記述法 墨書 備考 封筒あり。「俳画寺大本山」の押印。	あり
1692	倉田松濤書簡 渡 辺国武宛	倉田松濤	〔渡辺国武〕	3月18日	数量 1通 内容 揮毫の件。 記述法 墨書	あり
1693	倉田松濤書簡 渡 辺国武宛	倉田松濤	舞辺老先生 (渡辺国武)	3月19日	数量 1通 内容 揮毫のお礼。「当山の宝物永久の光栄 二御坐候」。 記述法 墨書 備考 請求記号1691の封筒に同封。	あり
1694	黒川通軌書簡 渡 辺国武宛	黒川通軌	渡辺国武	〔明治25年〕4 月4日	数量 1通 内容 かねて御依頼の件。 記述法 墨書	あり
1695	黒川通軌書簡 渡 辺国武宛	黒川通軌	渡辺国武	2月12日	数量 1通 内容 貴省就官依頼。 付属資料 「[38]黒川通軌(262-263)」 と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1696	黒田清隆書簡 渡 辺国武宛	黒田清隆	〔渡辺国武 (大臣)〕	明治25年8月1 4日	数量 1通 内容 明日15日午後5時頃より拙宅へお出で こう、本省予算につき協議を願う。 付属資料 「[1]黒田清隆(1)～(8)」と 記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1697	黒田清隆書簡 渡 辺国武宛	黒田清隆	〔渡辺国武 (大蔵大 臣)〕	明治25年8月1 6日	数量 1通 内容 予算の件。昨日の渡辺来訪につき大酩 酊を謝す。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1698	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	黒田清隆	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治25年10月26日	数量 1通 内容 追加予算の件。 記述法 墨書	あり
1699	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	黒田清隆	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治26年2月4日	数量 1通 内容 有馬君と示談の件。 記述法 墨書	あり
1700	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	〔黒田清隆〕	渡辺国武	明治26年7月29日	数量 1通 内容 蕎麦の礼状。「清隆大好物二付何より望外之仕合」。 記述法 墨書	あり
1701	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	〔黒田清隆〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治26年9月23日	数量 1通 内容 27年度歳入歳出追加概算書写を落手致し候。お見舞いのお礼。 記述法 墨書	あり
1702	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	〔黒田清隆〕	〔渡辺国武(逓信大臣)〕	明治28年6月24日	数量 1通 内容 首相と会見。 記述法 墨書	あり
1703	黒田清隆書簡 渡辺国武宛	黒田清隆	渡辺国武	明治33年4月3日	数量 1通 内容 安保鐘助紹介の件。 記述法 墨書	あり
1704	圭介書簡 渡辺国武宛	圭介	〔渡辺国武〕	30日	数量 1通 内容 和歌及び漢詩。 記述法 墨書	あり
1705	郷純造書簡 渡辺国武宛	郷純造	渡辺国武(主計局長)	3月21日	数量 1通 内容 会計原法の修正案について。「目ヲ廃シ項ニテ整理致候ハ、多分二手数も相省ケ可申候」。 記述法 墨書	あり
1706	河野敏鎌書簡 渡辺国武宛	河野敏鎌	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月3日	数量 1通 内容 お申し越しの件は承知致さず。大蔵大臣時代の書簡。 付属資料 「[24]河野敏鎌(175)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1707	久我通久書簡 渡辺国武宛	久我通久	渡辺国武	〔明治33年〕1月7日	数量 1通 内容 某官房長任官の件。「前日某官房長之義ニ付云々致シタルハ拙者獵官ノ目的ニ無之」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1708	久我通久書簡 渡辺国武宛	久我通久	渡辺国武	明治33年11月11日	数量 1通 内容 政友会内各派調停を依頼。「世間ノ称スル直参党及旧自由派之均勢其宜ヲ得サルト貴族院ノ操縦方ニ一モ其着手無キ姿ト二有之候」。 付属資料 「[52]久我通久(280~282)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1709	久我通久書簡 渡辺国武宛	久我通久	渡辺国武	〔明治34年〕3月29日	数量 1通 内容 ご帰京の予定お知らせを乞う。 記述法 墨書	あり
1710	小坂順造書簡 渡辺国武宛	小坂順造	渡辺国武	明治43年5月19日	数量 1枚 内容 葉書。アメリカより近況報告。 記述法 ペン	あり
1711	小坂順造書簡 渡辺国武宛	小坂順造	〔渡辺国武〕	明治43年7月3日	数量 1枚 内容 葉書。ローマよりご機嫌伺い。 記述法 ペン	あり
1712	国家学会幹事書簡 渡辺国武宛	(国家学会幹事)	渡辺国武	明治28年10月15日	数量 1枚 内容 例会の案内状。 記述法 印刷(活字) 備考 葉書	あり
1713	近衛篤磨書簡 渡辺国武宛	近衛篤磨	渡辺国武	〔明治33年〕7月18日	数量 1通 内容 北清事変の件。 付属資料 「[25]近衛篤磨(173)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1714	小松謙次郎書簡 渡辺国武宛	小松謙次郎 (逓信省通信局長・通信協会会長)	渡辺国武	明治41年10月5日	数量 1通 内容 逓信協会雑誌発刊につき、渡辺の談話を掲載したいと依頼。 記述法 墨書	あり
1715	小山書簡 渡辺国武宛	小山	渡辺国武	4月27日	数量 1通 内容 近況報告。「十五日開帆、十七日入京滞在、四月廿一日二及テ罷官之命アリ」。東京の近状等。 記述法 墨書	あり
1716	阪野彦三郎書簡 渡辺国武宛	阪野彦三郎	渡辺国武	7月25日	数量 1通 内容 一度参趨、拝賀を得たし。 記述法 墨書	あり
1717	坂本俊篤書簡 渡辺国武宛	坂本俊篤	渡辺国武	〔明治28年〕1月21日	数量 1通 内容 坂本の凱旋祝の案内状。 記述法 墨書	あり
1718	坂本俊健書簡 渡辺国武宛	坂本俊健	渡辺国武	明治28年3月15日	数量 1通 内容 渡辺への返信。 記述法 墨書 備考 封筒あり。坂本は栃木県書記官。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1719	坂本俊健書簡 渡辺国武宛	坂本俊健	渡辺国武	〔明治29年〕3月29日	数量 1通 内容 鹿児島転任の件。 付属資料 宛名を記した紙片、1枚 記述法 墨書	あり
1720	桜井林蔵書簡 渡辺国武宛	桜井林蔵	〔渡辺国武〕	明治28年3月20日	数量 1通 内容 渡辺の逓信大臣就任につき挨拶状。 記述法 墨書	あり
1721	桜井林蔵書簡 渡辺国武宛	桜井林蔵	渡辺国武	10月10日	数量 1通 内容 茨城県筑波郡鹿島村豪農、大里元市揮毫所望の件。 記述法 墨書	あり
1722	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕1月9日	数量 1通 内容 伊集院君につき御採用相成度人名差出云々。 記述法 墨書	あり
1723	佐々木高行書簡 渡辺国武・伊集院兼善宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕・〔伊集院兼善(大書記官)〕	〔明治10年〕2月13日	数量 1通 内容 鹿児島事件につき、毛利恭助、弘田陽の兩人を派遣。 記述法 墨書	あり
1724	佐々木高行書簡 渡辺国武・伊集院兼善宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕・〔伊集院兼善(書記官)〕	〔明治10年〕3月2日	数量 1通 内容 賊兵蜂起につき高知の状況を問う。 記述法 墨書	あり
1725	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕6月15日	数量 1通 内容 第十大区区長南良輔出府。 記述法 墨書	あり
1726	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕6月16日	数量 1通 内容 南良輔より高知不穩の状況報告。「事切迫之趣、人数も凡千人斗も可有之と之事二御座候」。 付属資料 「[6]佐々木高行(107)～(115)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1727	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕8月9日	数量 1通 内容 和田義蔵紹介、南小太郎捕縛。 記述法 墨書	あり
1728	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	6月4日	数量 1通 内容 ご採用依頼。 記述法 墨書	あり
1729	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	佐々木高行	渡辺国武	7月7日	数量 1通 内容 蟹江卓爾紹介。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1730	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	9月25日	数量 1通 内容 内務省との往復書類の借用を乞う。 記述法 墨書	あり
1731	佐々木高行書簡 渡辺国武宛	〔佐々木高行〕	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	12月12日	数量 1通 内容 広瀬直一身上の件。石田英吉、野村維章、内務卿等に相談。 記述法 墨書	あり
1732	三條実美書簡 渡辺国武宛	三條実美	渡辺国武(大蔵次官)	〔明治22年〕1月25日	数量 1通 内容 予算書は山県総理大臣へ回送。 付属資料 「[15]三條実美(160)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1733	三大臣書簡 渡辺国武宛	三大臣	渡辺国武(福岡県令)	〔明治14年〕1月20日	数量 1通 内容 明日21日午前10時に岩倉家へ出頭すべし。 付属資料 (1)「本町式丁目石内作太郎方」と記されたメモ、1枚／(2)「[64]三大臣415」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1734	三宮義胤書簡 渡辺国武宛	三宮義胤(式部長)	渡辺国武(逓信大臣)	明治28年8月17日	数量 1通 内容 勲章授与につき連絡。 記述法 墨書	あり
1735	三宮義胤書簡 渡辺国武宛	三宮義胤(式部長)	渡辺国武	明治28年8月17日	数量 1枚 内容 授爵の件。 記述法 墨書	あり
1736	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月21日	数量 1通 内容 雁2羽御下賜。 付属資料 「[65]侍従416~421」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1737	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月11日	数量 1通 内容 雁2羽御下賜。 記述法 墨書	あり
1738	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	2月23日	数量 1通 内容 雁2羽御下賜。 記述法 墨書	あり
1739	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	3月2日	数量 1通 内容 雁2羽御下賜。 記述法 墨書	あり
1740	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	12月28日	数量 1通 内容 雁3羽御下賜。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1741	侍従書簡 渡辺国武宛	上直侍従	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	3月13日	数量 1通 内容 日本酒1樽御下賜。 記述法 墨書	あり
1742	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川やじ(品川弥二郎)	〔小池国武(渡辺国武)(高知県令)〕	〔明治11年8月~12年5月〕24日	数量 1通 内容 山口県令より来る書、そのままご覧に入れ候。 記述法 墨書	あり
1743	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	やじ(品川弥二郎)	〔渡辺国武〕	〔明治11年または14年〕12月9日	数量 1通 内容 某商社の件。 記述法 墨書	あり
1744	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	やじ(品川弥二郎)	〔渡辺国武〕	〔明治13年〕1月4日	数量 1通 内容 対面ヶ原問題調停の件。 記述法 墨書	あり
1745	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治24年〕2月27日	数量 1通 内容 地価修正論者に対する攻撃材料を取り調べたものがあれば借用したし。 記述法 墨書	あり
1746	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武(大蔵次官)〕	〔明治25年〕2月10日	数量 1通 内容 岐阜県各郡村長総代上京の件。 記述法 墨書	あり
1747	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	やじ(品川弥二郎)	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕2月24日	数量 1通 内容 都筑馨六取り調べの別冊について。首相へ提出の秘密意見書転読。 記述法 墨書	あり
1748	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	苦談生やじ(品川弥二郎)	〔渡辺国武〕	明治25年5月23日	数量 1通 内容 高吟一読。 記述法 墨書	あり
1749	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕9月14日	数量 1通 内容 埼玉県収税長攻撃一件。「終に知事之身上二及び可申候」。 記述法 墨書	あり
1750	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治26年10月20日	数量 1通 内容 永井松右衛門より内願の件。「万々御差繰出来ル事ナレバ本人へ被仰付不苦候」。 記述法 墨書	あり
1751	永井松右衛門書簡 品川弥二郎宛	永井松右衛門	〔品川弥二郎〕	〔明治26年〕10月18日	数量 1通 内容 貨幣制度取調委員会へ国民協会議員参加の件。「然シテ国民派ヨリ選挙セラレ候場合ハ小生其推撰二預リ度」。 記述法 墨書 備考 永井は永井荷風の叔父。請求記号1750の封筒に同封。	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1752	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	明治26年10月 31日	数量 1通 内容 岐阜納税一件への対応につきお尋ね。 「御省御確定の処やじ迄御洩らし被下度」。 付属資料 「[2]品川弥二郎(9)～(25)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1753	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (逓信大臣)〕	〔明治28年〕9 月18日	数量 1通 内容 大坂商船会社の杉山孝平紹介。「同人八独乙学者ニテ先年信用組合論ヲ著述セシ」。 記述法 墨書	あり
1754	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	渡辺国武	明治29年9月5 日	数量 1通 内容 釣りのこと。「沖二漕出して一かせぎする気力八無之」。 記述法 墨書	あり
1755	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (大蔵次官)〕	1月19日	数量 1通 内容 三井物産輸出米の件。 記述法 墨書	あり
1756	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	やじ(品川弥二郎)	〔渡辺国武〕	1月22日	数量 1通 内容 マイエットの官設火災保険調査書類拝借の件。「書類暫時借用相叶間敷や」。 記述法 墨書	あり
1757	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (大蔵次官)〕	3月3日	数量 1通 内容 国庫金取扱を加賀銀行へ委託の件。 記述法 墨書	あり
1758	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (大蔵次官)〕	5月25日	数量 1通 内容 群馬県人星野七太郎紹介。米国輸出製糸販売の件。 記述法 墨書	あり
1759	品川弥二郎書簡 渡辺国武宛	品川弥二郎	〔渡辺国武 (大蔵次官)〕	12月24日	数量 1通 内容 上州蚕糸改良会社の件。 記述法 墨書	あり
1760	渋沢栄一書簡 渡 辺国武宛	渋沢栄一	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	〔明治26年〕6 月17日	数量 1通 内容 各国立銀行紙幣消却方法の件。 記述法 墨書	あり
1761	渋沢栄一書簡 渡 辺国武宛	渋沢栄一	〔渡辺国武〕	〔明治36年〕3 月15日	数量 1通 内容 手形交換所組合懇親会招待。 付属資料 「[34]渋沢栄一(252)～(253)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1762	白根専一書簡 渡辺国武宛	〔白根専一〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕6月7日	数量 1通 内容 軍艦製造費につき野口勝一氏説得を乞う。 付属資料 「[29]白根専一(177)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1763	白根専一書簡 渡辺国武宛	〔白根専一〕	〔渡辺国武〕	5月1日	数量 1通 内容 河野広中議長就任について。「野口勝一氏は河野広中氏議長タルヘキ人物ト主張」。 記述法 墨書	あり
1764	末松謙澄書簡 渡辺国武宛	〔末松謙澄〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	1月13日	数量 1通 内容 北海一条。 記述法 墨書	あり
1765	末松謙澄書簡 渡辺国武宛	〔末松謙澄〕	〔渡辺国武〕	3日	数量 1通 内容 御揮毫鳴謝。 記述法 墨書	あり
1766	末松謙澄書簡 渡辺国武宛	末松謙澄	□□□□〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	15日	数量 1通 内容 熊本誤納金一条。「取調等案外手間取彼是遷延之段平二御寛恕被下度候」。 付属資料 「[39]末松謙澄(264-266)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1767	諏訪忠誠書簡 渡辺国武宛	諏訪忠誠	渡辺国武	明治30年4月30日	数量 1通 内容 貴族院議員選挙について。 付属資料 (1) 第2回貴族院議員選挙についての主意書、3枚 / (2) 「[43]諏訪忠誠(270-271)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1768	諏訪忠誠書簡 渡辺国武宛	諏訪忠誠	渡辺国武	明治30年5月25日	数量 1通 内容 貴族院議員選挙、主意書について。 記述法 墨書	あり
1769	副島種臣書簡 渡辺国武宛	副島種臣	渡辺国武(大蔵次官)	〔明治24年〕5月4日	数量 1通 内容 五県士復祿願書呈出の件。許可あいなりたし。 記述法 墨書	あり
1770	副島種臣書簡 渡辺国武宛	副島種臣	〔渡辺国武(大蔵書記官)〕		数量 1通 内容 漢文。 付属資料 「[59]副島種臣(298~299)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1771	添田寿一書簡 渡辺国武宛	添田寿一	〔渡辺国武〕	〔明治24年2月〕20日	数量 1通 内容 天野若円の動議成立。 付属資料 「[30]添田寿一(178)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1772	高島鞆之助書簡 渡辺国武宛	高島鞆之助	〔渡辺国武 (次官)〕	2月12日	数量 1通 内容 三池一件につき。 付属資料 (1) 三池炭鉱一件意見要領、5枚 / (2) 「[41]高島鞆之助(268)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1773	高雅書簡 渡辺国武宛	高雅	〔渡辺国武〕	8月4日	数量 1通 内容 和歌山県下の事情。 記述法 墨書	あり
1774	高山逸子書簡 渡辺国武宛	高山逸子	渡辺国武	明治29年9月11日	数量 1通 内容 様子伺い。 記述法 墨書	あり
1775	高山逸子書簡 渡辺国武宛	高山逸子	〔渡辺国武〕	9日	数量 1通 内容 入院中の渡辺千春の状態、病室について。「経過は至極よろしく御座候間、十日間斗りにて多分全快可仕卜存候」。 記述法 墨書	あり
1776	武井一郎書簡 渡辺国武宛	武井一郎	渡辺国武	〔明治43年〕7月30日	数量 1通 内容 暑中見舞い。 記述法 墨書	あり
1777	竹村欽次郎書簡 渡辺国武宛	竹村欽次郎 (青森県収税長)	〔渡辺国武 (逓信大臣)〕	明治28年3月20日	数量 1通 内容 渡辺の大蔵大臣退任につき挨拶状。 記述法 墨書	あり
1778	竹村欽次郎書簡 渡辺国武宛	竹村欽次郎 (富山県収税長)	渡辺国武	明治29年9月24日	数量 1通 内容 渡辺の大蔵大臣辞職につき挨拶。 記述法 墨書	あり
1779	田中光顕書簡 渡辺国武宛	田中光顕	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	3月15日	数量 1通 内容 中村真夾男身上の事につきお願い。 記述法 墨書	あり
1780	田中光顕書簡 渡辺国武宛	田中光顕	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	8月14日	数量 1通 内容 お手許の武市半平太伝を拝見したい。 付属資料 「[55]田中光顕(288~290)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1781	田中光顕書簡 渡辺国武宛	田中光顕	渡辺国武	11月5日	数量 1通 内容 中村真夾男身上の件につきお礼。 記述法 墨書 備考 封筒あり。中村は土佐勤王党の一員。明治26年大蔵属。	あり
1782	谷干城書簡 渡辺国武宛	谷干城	〔小池国武 (渡辺国武)〕	1月20日	数量 1通 内容 仁尾某就官依頼。 付属資料 「[18]谷干城(163~166)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1783	谷干城書簡 渡辺国武宛	谷干城	渡辺国武(大臣)	9月5日	数量 1通 内容 郡司一行の扶助につきお礼。 記述法 墨書	あり
1784	谷干城書簡 渡辺国武宛	谷干城	〔小池国武(渡辺国武)〕	9月30日	数量 1通 内容 兵営引渡しの際。「兼而願出有之候兵営来ル二日仮り二御引渡被成下度」。 記述法 墨書	あり
1785	谷干城書簡 渡辺国武宛	谷干城	〔渡辺国武〕		数量 1通 内容 明朝お目にかかりたし。 記述法 墨書	あり
1786	谷干城書簡 渡辺国武宛	谷干城	渡辺国武		数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1787	近山勝右衛門書簡 渡辺国武宛	近山勝右衛門(長野県下高井郡中野町長)	渡辺国武	明治28年9月1日	数量 1枚 内容 渡辺の子爵授与を祝う文。 記述法 墨書	あり
1788	忠閣書簡 渡辺千冬宛	忠閣	無劔閣下(渡辺千冬)	7月14日	数量 1通 内容 お礼状。 記述法 墨書	あり
1789	辻新次書簡 渡辺国武宛	辻新次	渡辺国武	10月5日	数量 1通 内容 法科大学生佐藤豊次郎紹介の件。 付属資料 佐藤豊次郎の名刺、1枚 記述法 墨書	あり
1790	綱義書簡 渡辺国武宛	綱義	〔渡辺国武〕	6月20日	数量 1通 内容 埼玉県収税属久保某酒屋摘発の件。 付属資料 「差出人不明書翰1~19」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1791	徳大寺実則書簡 渡辺国武宛	徳大寺実則	渡辺国武	12月20日	数量 1通 内容 天竜道人墓所についての回答のお礼。 記述法 墨書	あり
1792	徳大寺実則書簡 渡辺国武宛	〔徳大寺実則(侍従長)〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	12月27日	数量 1通 内容 歳暮御祝儀下賜につき御参入これありたし。 記述法 墨書	あり
1793	富岡敬明書簡 渡辺国武宛	富岡敬明	渡辺国武	1月12日	数量 1通 内容 前田身上の義。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1794	鳥居市左衛門ほか書簡 渡辺国武宛	鳥居市左衛門・堤平太夫・前田善左衛門・中村徳治郎・中村太緑・田邊市兵衛・大谷政治郎・渡邊六郎右衛門・丸安伊右衛門・伊藤宗助・武長豊吉・武長傳三郎・伊藤熊治郎・石丸豊奎（福井県三方郡人民二万三千四百五十九人総代）	渡辺国武（大蔵大臣）	明治20年代後半	数量 1通 内容 収税署分設の感謝状。 記述法 墨書	あり
1795	内外海事学会書簡 渡辺国武宛	内外海事学会	渡辺国武	明治28年12月	数量 1枚 内容 松平定信の描いた外国船の戯画送付。 付属資料 外国船の絵、1枚 記述法 印刷（活字）	あり
1796	中井弘書簡 渡辺国武宛	中井弘	渡辺国武	〔明治24年〕6日	数量 1通 内容 薩長の末路、細川雄二郎の身上につきご依頼、組織主義、一致協力の政府云々。 記述法 墨書	あり
1797	中井弘書簡 渡辺国武宛	中井弘	〔俠禅師先閣（渡辺国武）（大蔵大臣）〕	〔明治26年〕3月25日	数量 1通 内容 細川雄二郎統計局へ御採用を乞う。 記述法 墨書	あり
1798	中井弘書簡 渡辺国武宛	〔中井弘〕	〔渡辺俠禅閣下（渡辺国武）〕	3月25日	数量 1通 内容 細川雄二郎日本銀行就職依頼。「同人之身上二付日本銀行江御紹介之榮を得候様奉願上度」。 付属資料 「[57]中井弘（293～295）」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1799	長岡護美書簡 渡辺国武宛	長岡護美	渡辺国武	1月23日	数量 1通 内容 明夕5時御来車を乞う。 付属資料 「[50]長岡護美（278）」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1800	中島信行書簡 渡辺国武宛	中島信行	〔小池国武（渡辺国武）〕	〔明治9年〕11月24日	数量 1通 内容 県下人事の事。 付属資料 「[9]中島信行（128）～（130）」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1801	中島信行書簡 渡辺国武宛	中島信行	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治9年〕12月12日	数量 1通 内容 伊集院後役に決定。 記述法 墨書	あり
1802	中島信行書簡 渡辺国武宛	〔中島信行〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	9月1日	数量 1通 内容 土居通予採用につき。 記述法 墨書	あり
1803	中島錫胤ほか書簡 渡辺国武宛	中島錫胤・中田憲信・本田普・岡谷繁実・池田謙蔵・鈴木重遠・佐田白茅・戸水信義・林甕臣・安部井磐根・寺師宗徳・西澤之助	渡辺国武	明治38年9月18日	数量 3枚 内容 政府の外交政策に対する批判。 記述法 墨書	あり
1804	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	中村弘毅	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治9年〕12月25日	数量 1通 内容 官員増置ならびに警察増費の兩条内閣決裁につき、内務省へ御迫りなられたし。 付属資料 「〔7〕中村弘毅(116)～(123)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1805	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	〔中村弘毅〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕2月6日	数量 1通 内容 立志社の活動について。藤田健、渡辺清採用に付依頼。 記述法 墨書	あり
1806	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	〔中村弘毅〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕7月10日	数量 1通 内容 出帆延引。巡查派遣の事。 記述法 墨書	あり
1807	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	〔中村弘毅〕	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治10年〕7月16日	数量 1通 内容 13日帰京、お托しの件内務卿へ上申。 記述法 墨書	あり
1808	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	中村弘毅	〔小池国武(渡辺国武)(高知県権令)〕	〔明治10年〕8月13日	数量 1通 内容 村松、斎藤拘引着手につき巡查派遣。 記述法 墨書 用紙 太政官野紙 備考 請求記号1809の封筒に同封。	あり
1809	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	中村弘毅	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治10年〕8月15日	数量 1通 内容 兵庫県より派遣の巡查の件、頗る不都合。 記述法 墨書	あり
1810	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	〔中村弘毅〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕8月23日	数量 1通 内容 兵庫県より巡查派遣の件。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1811	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	中村弘毅	渡辺国武(高知県令)	〔明治12年〕1月11日	数量 1通 内容 藤本駿馬御県へ奉仕志願につき催促。 記述法 墨書	あり
1812	中村弘毅書簡 渡辺国武宛	〔中村弘毅〕	渡辺国武	12月18日	数量 1通 内容 日野春艸就職の件。「即今華族銀行江被雇内実八旧主山内家よりも差出候次第第二而、今俄二他江被取扱候而八山内家二於テ困却之趣」。 記述法 墨書	あり
1813	並木覚太郎書簡 渡辺国武宛	並木覚太郎	無辺先生(渡辺国武)	〔明治29年〕8月25日	数量 1通 内容 残暑見舞い。信甲鉄道敷設地調査の件。 記述法 墨書	あり
1814	並木覚太郎書簡 渡辺国武宛	並木覚太郎	渡辺国武	〔明治29年〕9月26日	数量 1通 内容 漢詩。転居の連絡。 記述法 墨書	あり
1815	仁尾椎茂書簡 渡辺国武宛	仁尾椎茂	〔渡辺国武〕	4月30日	数量 1通 内容 ご尋査の件、敬承。 記述法 墨書	あり
1816	西田政造書簡 渡辺国武宛	西田政造	渡辺国武	明治38年9月1日	数量 1通 内容 渡辺の著書に対する感想。 記述法 墨書	あり
1817	野村靖書簡 渡辺国武宛	野村靖	渡辺国武(大蔵大臣)	〔明治27年〕1月2日	数量 1通 内容 島根秋田水災補助金の事。 付属資料 「[10]野村靖(131)～(135)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1818	蛭川新書簡 渡辺千冬宛	岳南(蛭川新)	無剣老台カ(渡辺千冬)	〔明治41年〕7月16日	数量 1通 内容 桂再仕など政界云々。韓国宮内府有不動産の国有への編入は適當。 記述法 墨書	あり
1819	野村靖書簡 渡辺国武宛	〔野村靖〕	〔渡辺国武(逓信大臣)〕	〔明治28年〕3月31日	数量 1通 内容 日清事件につき新聞取締の事。「日清二関する内外之電報必用と認むるものは速二小生二内報致シ呉候様御配慮相叶申間希や」。 記述法 墨書	あり
1820	野村靖書簡 渡辺国武宛	〔野村靖〕	〔渡辺国武(逓信大臣)〕	〔明治28年〕4月8日	数量 1通 内容 コレヲ病につき勅令お発し願いたし。 記述法 墨書	あり
1821	野村靖書簡 渡辺国武宛	野村靖	〔渡辺国武(逓信大臣)〕	〔明治28年〕4月18日	数量 1通 内容 小生広島へ出発。「何なりとも御用候八、御申聞被下度候」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1822	野村靖書簡 渡辺国武宛	〔野村靖〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	10月30日	数量 1通 内容 右神の件につきお願い。 記述法 墨書	あり
1823	波多野敬直書簡 渡辺国武宛	波多野敬直(宮内大臣)	渡辺国武	大正8年5月11日	数量 1通 内容 病氣見舞いとして天皇陛下より葡萄酒下賜。 記述法 墨書	あり
1824	花房義質書簡 渡辺国武宛	花房義質(東京統計協会々長)	渡辺国武	明治29年1月29日	数量 1枚 内容 貴君を名誉会員に選挙、承諾くださいましたし。 記述法 墨書 用紙 東京統計協会用箋	あり
1825	浜口雄幸書簡 渡辺国武宛	浜口雄幸	渡辺国武	明治41年4月4日	数量 1通 内容 40年度煙草専売事業につき報告。「予期以上ノ増収ヲ得ルコトニ相成」。 付属資料 別表、1枚 記述法 墨書	あり
1826	浜口雄幸書簡 渡辺国武宛	浜口雄幸	渡辺国武	明治43年4月5日	数量 1通 内容 42年度専売事業につき報告。 付属資料 別表、1枚 記述法 墨書	あり
1827	浜名信平書簡 渡辺国武宛	浜名信平	〔渡辺国武〕	5月8日	数量 1通 内容 揮毫のお礼。 付属資料 浜名の名刺、1枚 記述法 墨書	あり
1828	林空水書簡 渡辺国武宛	林空水	無辺老大人(渡辺国武)	〔明治42年〕	数量 1通 内容 父について。病氣見舞い。近況報告。 記述法 墨書	あり
1829	林中五郎書簡 渡辺国武宛	林中五郎	渡辺国武	明治40年3月8日	数量 1通 内容 父について。我家の状態は殆ど共和政体的生活。空水は釈迦孔子基督以上の宗教家。 記述法 墨書	あり
1830	林中五郎書簡 渡辺国武宛	林中五郎	無辺老大人(渡辺国武)	〔明治42年〕6月14日	数量 1通 内容 病氣見舞い。宗教上・教育上の意見と政治上の経歴を兼ね備えた大政治家は閣下のほかになし。 記述法 墨書	あり
1831	日置黙仙書簡 渡辺国武宛	日置黙仙(秋葉総本殿可睡齋)	渡辺国武	〔明治42年〕6月18日	数量 1通 内容 病氣見舞い。「閣下脳溢血発病之処快方二向之由、不取敢電報ヲ以テ伺上候」。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1832	東久世通禧書簡 渡辺国武宛	東久世通禧	渡辺国武	5月2日	数量 1通 内容 小集会開催につきご来会を乞う。 付属資料 「[26]東久世通禧(174)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1833	彦坂諶照書簡 渡辺国武宛	彦坂諶照	渡辺国武	〔大正4年〕9月25日	数量 1通 内容 御登覧の際に羽二重のご恵投、厚くお礼。 記述法 墨書	あり
1834	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治9年〕12月13日	数量 1通 内容 土族復籍禄につき、「精々努力可仕候条御安念可被下候」。 付属資料 「[4]土方久元(51)～(67)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1835	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治10年〕2月28日	数量 1通 内容 武市半平太等族禄復旧上申の件裁可。鹿児島県賊徒暴動につき高知の静穩を希望。 記述法 墨書	あり
1836	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	〔小池国武(渡辺国武)(権令)〕	〔明治10年〕5月9日	数量 1通 内容 川崎省三郎を県官に推薦。高知県下の状況。 記述法 墨書	あり
1837	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治10年〕7月27日	数量 1通 内容 高知県下紛紜の件。「管下先般来紛紜之光景ヲ承リ憂慮二不堪候」。西南戦争の件。「西賊八大二退縮」。 記述法 墨書	あり
1838	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	渡辺国武	〔明治12年〕1月11日	数量 1通 内容 赤川の後任につき示唆。地方官召集。福岡県人自由党より分離。 記述法 墨書	あり
1839	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元(宮内大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	明治26年12月23日	数量 1通 内容 陛下御用につき午前10時参内これあるべし。 記述法 墨書	あり
1840	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元(宮内大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	明治28年2月10日	数量 1通 内容 明11日正午、御陪食おおせつけ。 記述法 墨書	あり
1841	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	渡辺国武	〔明治31年〕3月5日	数量 1通 内容 漢詩。 記述法 墨書	あり
1842	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	渡辺国武	明治34年6月25日	数量 1通 内容 洋行中の拙作贈呈。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1843	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	渡辺国武	〔明治37年〕5月4日	数量 1通 内容 汽車工事請負業者、吉田寅松紹介。 記述法 墨書	あり
1844	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	渡辺国武(大蔵大臣)	2月17日	数量 1通 内容 祝典につき各大臣並大臣待遇より献品人名中へ松方伯加入の件、拝承。 記述法 墨書	あり
1845	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	2月18日	数量 1通 内容 病氣見舞。築港一条につき。 記述法 墨書	あり
1846	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	2月22日	数量 1通 内容 明朝10時頃ご出頭くださされたし。 記述法 墨書	あり
1847	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	2月22日	数量 1通 内容 調書の件、承知。 記述法 墨書	あり
1848	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	3月2日	数量 1通 内容 築港の件。「築港之義二付云々致承知候」。 記述法 墨書	あり
1849	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	4月9日	数量 1通 内容 昨日お尋ねの一条云々。 記述法 墨書	あり
1850	土方久元書簡 渡辺国武宛	土方久元	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	4月20日	数量 1通 内容 依頼の件につきお礼。「昨日御頼仕候件、早速御談被下候趣ヲ以云々御示之旨敬承仕候」。 記述法 墨書	あり
1851	土方久元書簡 渡辺国武宛	〔土方久元〕	〔渡辺国武〕	8月18日	数量 1通 内容 晚餐招待。 記述法 墨書	あり
1852	平山靖彦書簡 渡辺国武宛	平山靖彦	渡辺国武	〔明治28年〕3月18日	数量 1通 内容 渡辺の全快を祝う。本県水害問題一段落につき報告。「一先安心之事二有之候」。 記述法 墨書	あり
1853	平山靖彦書簡 渡辺国武宛	平山靖彦(秋田県知事)	渡辺国武(逓信大臣)	明治28年3月2日	数量 1通 内容 渡辺の逓信大臣就任につき挨拶。 記述法 墨書 用紙 秋田県用封筒	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1854	福羽美静書簡 渡辺国武宛	福羽美静	渡辺国武	〔明治24年〕10月20日	数量 1通 内容 竹内式部について。「竹内式部、天竜道人同人ナルの考証」。 付属資料 「[33]福羽美静(246)～(251)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1855	福羽美静書簡 渡辺国武宛	福羽美静	渡辺国武	〔明治25年〕5月31日	数量 1通 内容 竹内式部の霊祭について。 付属資料 福羽、渡辺ほか6名の氏名が記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1856	福羽美静書簡 渡辺国武宛	福羽美静	渡辺国武	〔明治25年〕6月21日	数量 1通 内容 挨拶状。 記述法 墨書	あり
1857	福羽美静書簡 渡辺国武宛	福羽美静	渡辺国武	〔明治26年〕10月31日	数量 1通 内容 宙斎記の原本拝借の件。 記述法 墨書	あり
1858	福羽美静書簡 渡辺国武宛	福羽美静	渡辺国武	1月27日	数量 1通 内容 過日お話の件貴族院へ廻候。 記述法 墨書	あり
1859	福羽美静書簡 渡辺国武宛	〔福羽美静〕	渡辺国武	7月20日	数量 1通 内容 竹内式部伝編纂の件。 記述法 墨書	あり
1860	福羽美静書簡 渡辺国武宛	〔福羽美静〕	渡辺国武	11月3日	数量 1通 内容 竹内式部について。 記述法 墨書	あり
1861	細小路孫八書簡 渡辺国武宛	細小路孫八	渡辺国武	明治28年10月15日	数量 1通 内容 大高文七より金20円拝領。 記述法 墨書	あり
1862	前島密書簡 渡辺国武宛	前島密	〔小池国武(渡辺国武)〕	明治11年7月3日	数量 2枚 内容 片桐譲之派遣の件。 付属資料 「[19]前島密(167)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1863	町田源太郎書簡 渡辺国武宛	町田源太郎	無辺先生(渡辺国武)	〔明治40年〕1月18日	数量 1通 内容 漢詩について。 記述法 墨書	あり
1864	町田源太郎書簡 渡辺国武宛	町田源太郎	無辺先生(渡辺国武)	〔明治40年〕1月18日	数量 1通 内容 漢詩文など。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1865	松浦詮書簡 渡辺国武宛	松浦詮	渡辺国武	〔明治30年〕2月21日	数量 1通 内容 転地保養の件。 付属資料 「[36]松浦詮(258-259)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1866	松浦詮書簡 渡辺国武宛	松浦詮	渡辺国武	〔明治30年〕5月12日	数量 1通 内容 渡辺会開催御案内。 記述法 墨書	あり
1867	松浦厚書簡 渡辺国武宛	〔松浦厚〕	渡辺国武	明治42年12月27日	数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ	あり
1868	松尾多勢書簡 渡辺国武宛	松尾多勢	渡辺国武	明治26年1月19日	数量 1通 内容 和歌。 付属資料 「[40]松尾多勢(267)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1869	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武(主計局長)	〔明治21年〕3月17日	数量 1通 内容 21年度予算郵便電信料収入について。 記述法 墨書	あり
1870	伊藤博文書簡 松方正義宛	〔伊藤博文〕	〔松方正義(大蔵大臣)〕	〔明治21年〕3月17日	数量 1通 内容 21年度予算郵便電信料収入について。「第一項郵便収入、第二項電信収入ト二項二分ち各箇ノ収入ヲ分別シ、予算ニ表明スルコト至当ナラン」。 記述法 墨書 備考 請求記号1869に同封。	あり
1871	巖谷修書簡 伊藤博文宛	〔巖谷修〕	春畝大臣(伊藤博文)	〔明治21年〕3月17日	数量 1通 内容 21年度予算郵便電信料収入について。「曾根静夫二面質致候処ハ、二十一年度ヨリハ郵便電信共一様之切手ヲ用ヒ其収入上二区別相定不申」。 記述法 墨書 備考 請求記号1869に同封。	あり
1872	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	〔明治21年〕1月4日	数量 1通 内容 枢密院議事細則お読みくだされたし。会計法草案第8章の貨幣運搬の儀は何等の理由にて削除されたか。 記述法 墨書	あり
1873	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕1月4日	数量 1通 内容 会計法案修正案を提出。 記述法 墨書	あり
1874	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕3月29日	数量 1通 内容 会計規則は内閣へは廻さず、左様ご承知くだされたし。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1875	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	〔明治22年〕4月17日	数量 1通 内容 会計法1条採択。 記述法 墨書	あり
1876	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	〔明治22-4年〕8月21日	数量 1通 内容 御考案入手、局長は午後4時入来につき同時刻より三田へご光臨くださったし。 記述法 墨書	あり
1877	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕9月2日	数量 1通 内容 「辞令八既二手元江相廻居候間…辞表差出候様御取斗可被下」。 付属資料 (1) 「〔62〕松方正義 (303) ~ (343)」と記載されたメモ、1枚 / (2) 「〔62〕松方正義 (384) ~ (413)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書 備考 封筒なし。	あり
1878	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武 (大蔵次官)	〔明治22年〕9月2日	数量 1通 内容 御注意もつとも、明日発表の方しかるべし。 記述法 墨書	あり
1879	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕9月2日	数量 1通 内容 富田辞表の件。 記述法 墨書 備考 富田は第二代日銀総裁の富田鉄之助力。	あり
1880	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治22年〕12月31日	数量 1通 内容 中野のことは如何。午後3時頃までに三田へお出で乞う。 記述法 墨書	あり
1881	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治23年〕1月14日	数量 1通 内容 中野後任見合わせられたし。 記述法 墨書 備考 中野建明は大蔵省関税局長。	あり
1882	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治23年〕12月13日	数量 1通 内容 予算審議開始、曾根・井上に御談示を乞う。 記述法 墨書	あり
1883	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武 (大蔵次官)〕	〔明治23年〕12月31日	数量 1通 内容 富田より見込書提出、大阪表金融静謐。 記述法 墨書	あり
1884	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕1月7日	数量 1通 内容 別紙衆議院より到着、御直話相尽くしたく、お立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1885	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月8日	数量 1通 内容 末松案廃案、予算委員の報告明日開始。明朝御出勤の折官舎へお出掛けください。たし。 記述法 墨書 備考 請求記号1884に同封。	あり
1886	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月16日	数量 1通 内容 川島の質問につき各省取調に決定。 記述法 墨書	あり
1887	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月20日	数量 1通 内容 議院焼失云々。地租云々の件同感。 記述法 墨書	あり
1888	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月24日	数量 1通 内容 地租軽減政費節減論に対する政府の方針を相談したし。 記述法 墨書	あり
1889	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月16日	数量 1通 内容 山県総理と対談の上決定につき了解を乞う。「不得止事情御察可被下候」。「今朝御出掛官舎へ御立寄被下候様奉依頼候也」。 記述法 墨書	あり
1890	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月18日	数量 1通 内容 衆院の同意請求の対策決定につきご来話乞う。 記述法 墨書	あり
1891	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月20日	数量 1通 内容 緊急動議につき貴君のご弁辞は控えられたし。 付属資料 「[62]松方正義(344)～(383)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1892	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕2月24日	数量 1通 内容 別冊二通入手につき「御廻致し候」。明後日の一戦の件。 記述法 墨書	あり
1893	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕4月10日	数量 1通 内容 中村元雄後任局長の件。 記述法 墨書 備考 請求記号1923に同封。	あり
1894	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕8月10日	数量 1通 内容 御紙面の趣、品川大臣と相談せん。「左様御承知可被下候」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1895	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕9月8日	数量 1通 内容 文部省の予算お受け取りくださるべし。司法省・逓信省の分も追って差し廻す予定。 記述法 墨書	あり
1896	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕9月13日	数量 1通 内容 日本銀行振替偽造の件。3百万円公債利子の件。 記述法 墨書	あり
1897	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕10月1日	数量 1通 内容 67条解釈につき御意見を乞う。 記述法 墨書	あり
1898	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕10月28日	数量 1通 内容 監獄費、沖縄裁判所費予算につき。 記述法 墨書	あり
1899	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	〔明治24年〕1月18日	数量 1通 内容 経世新報の陸奥宗光、岡崎邦輔に対する誹議につき。「今朝の経世新報無資格議員と題し岡崎邦輔子並陸奥大臣二対し無根之誹議有之」。 記述法 墨書	あり
1900	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月5日	数量 1通 内容 堤防費追加予算として提出のこと。 記述法 墨書	あり
1901	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月9日	数量 1通 内容 予算案閣議決定前に来談乞う。 記述法 墨書	あり
1902	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治24年〕1月12日	数量 1通 内容 愛知・岐阜両県免税方法の件（濃尾地震関連）。「政党連中はいよいよ解散之心持迫り候」。 記述法 墨書	あり
1903	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	〔明治24年〕1月14日	数量 1通 内容 議会解散の可能性により、自由党、改進黨は「混雑之趣」。 記述法 墨書	あり
1904	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕1月25日	数量 1通 内容 病気見舞い。 記述法 墨書	あり
1905	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東（松方正義）	渡辺国武	〔明治25年〕3月10日	数量 1通 内容 副島と相談まとまる。「御安心可被下候」。陸奥辞表提出につき。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1906	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕5月30日	数量 1通 内容 継続事業の款項の問題につき議会対策云々。 記述法 墨書	あり
1907	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕6月28日	数量 1通 内容 前途の計画充分の経緯必要云々。「折角昨日山県伯も伊藤伯も帰京にて談合仕置候事に御座候」。 記述法 墨書	あり
1908	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	〔明治25年〕7月28日	数量 1通 内容 勅命により留任決意。 記述法 墨書	あり
1909	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治25年〕8月10日	数量 1通 内容 内閣の事はご耐忍ご尽力を希望す。 記述法 墨書	あり
1910	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治26年8月16日	数量 1通 内容 貨制御改正につきご尽力を乞う。 記述法 墨書	あり
1911	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武(大臣)	〔明治26年〕9月23日	数量 1通 内容 生糸代価表拝借したし。 記述法 墨書	あり
1912	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東(松方正義)	渡辺国武(大臣)	〔明治27年〕8月27日	数量 1通 内容 6朱利公債計画につき。 記述法 墨書	あり
1913	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	1月5日	数量 1通 内容 大蔵省組織改正につき別冊3通り取調、明朝までにご覧の上出勤の折に立寄られたし。 記述法 墨書	あり
1914	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	1月6日	数量 1通 内容 ご考案ご同感。 記述法 墨書	あり
1915	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	1月15日	数量 1通 内容 病気をおして出院ご苦勞。 記述法 墨書	あり
1916	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	1月17日	数量 1通 内容 起訴一条白根より承り候。 記述法 墨書	あり
1917	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	1月21日	数量 1通 内容 今日午後1時頃御光駕を乞う。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1918	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	2月20日	数量 1通 内容 内務卿へ面晤、見込話置候。 記述法 墨書	あり
1919	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	2月20日	数量 1通 内容 お申込の件それぞれ申含置候、各省節減取調云々。 記述法 墨書	あり
1920	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月2日	数量 1通 内容 予算につき相談あり、おいでえう。 記述法 墨書	あり
1921	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月2日	数量 1通 内容 明日午前9時より貴族院にて予算委員会開始、出席をえう。 記述法 墨書	あり
1922	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月10日	数量 1通 内容 予算調製につき相談あり、おいでえう。 記述法 墨書	あり
1923	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	3月10日	数量 1通 内容 予算について。 記述法 墨書	あり
1924	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	俠禅大師(渡辺国武)	3月12日	数量 1通 内容 午後1時頃より予算案御携へお出でをえう。 記述法 墨書	あり
1925	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月17日	数量 1通 内容 官舎へお立寄りをえう。 記述法 墨書	あり
1926	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月21日	数量 1通 内容 今朝一寸御光来をえう。 記述法 墨書	あり
1927	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月21日	数量 1通 内容 来客により失敬、再度のお出でをえう。 記述法 墨書	あり
1928	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	3月22日	数量 1通 内容 次官云々の儀は内務大臣より取消。 記述法 墨書	あり
1929	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月23日	数量 1通 内容 三田へお立ち寄りくだされたし。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1930	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	3月24日	数量 1通 内容 吉田の事田中に頼み置く。税関局の事云々。 記述法 墨書	あり
1931	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	3月29日	数量 1通 内容 三田へお出で乞う。判任官の事云々。 記述法 墨書	あり
1932	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	3月30日	数量 1通 内容 御忠書はごもつとも千万。 記述法 墨書	あり
1933	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	4月1日	数量 1通 内容 有馬の事につき内相よりの返事を聞かれたし。 記述法 墨書	あり
1934	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	4月25日	数量 1通 内容 有馬の件。 記述法 墨書 備考 封筒あり。有馬は国債局長の有馬武カ。	あり
1935	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武(大蔵次官)	4月28日	数量 1通 内容 三池鉦山大蔵省代言人に三崎亀之助推薦。 記述法 墨書 備考 本文宛名には「渡辺大臣閣下」とあり	あり
1936	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東(松方正義)	〔渡辺国武〕	4月29日	数量 1通 内容 著述書ご送付を乞う。 記述法 墨書	あり
1937	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	5月10日	数量 1通 内容 三田へお出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1938	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	5月15日	数量 1通 内容 銀行の件につき佐々木政又御引見を乞う。 記述法 墨書	あり
1939	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	5月23日	数量 1通 内容 別紙到達、おいで乞う。井上角五郎同席。 記述法 墨書	あり
1940	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	5月27日	数量 1通 内容 出納局員出張につきご意見承りたく明朝お立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1941	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	5月27日	数量 1通 内容 此内よりの事件につきお出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1942	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	5月31日	数量 1通 内容 予算決定せず。日本興業銀行条例の件。 記述法 墨書	あり
1943	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東（松方正義）	〔渡辺国武〕	6月5日	数量 1通 内容 三田へおいでくだされたし。 記述法 墨書	あり
1944	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	6月16日	数量 1通 内容 お立寄願上候。 記述法 墨書	あり
1945	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	6月23日	数量 1通 内容 大蔵省官制発表につきおいでを乞う。 記述法 墨書	あり
1946	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	7月17日	数量 1通 内容 お示の件至極御尤。 記述法 墨書	あり
1947	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	7月31日	数量 1通 内容 ご来臨を乞う。 記述法 墨書	あり
1948	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	8月4日	数量 1通 内容 今朝出勤の折、お立寄り乞う。 記述法 墨書	あり
1949	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	8月8日	数量 1通 内容 加藤局長の別冊熟読の上、明朝三田へお出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1950	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	8月9日	数量 1通 内容 北海道書記官その他につき相談の為三田へお出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1951	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	8月12日	数量 1通 内容 外山修蔵国債一条意見お聞取を乞う。 記述法 墨書	あり
1952	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	8月18日	数量 1通 内容 屏風御患投を謝す。 記述法 墨書 備考 封筒あり。前欠。	あり
1953	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	8月28日	数量 1通 内容 三田へお立寄りくだされたし。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1954	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	9月10日	数量 1通 内容 地租条例に関しおいで乞う。 記述法 墨書	あり
1955	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	9月11日	数量 1通 内容 予算事件につき8時頃より三田へおいで乞う。 記述法 墨書	あり
1956	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	9月21日	数量 1通 内容 地方裁判官・検事長15,6人、俸給の件につき集会、来臨を乞う。 記述法 墨書	あり
1957	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	9月22日	数量 1通 内容 9時より総理大臣官舎にて会合のため出省せず、午前8時半頃私邸に御立寄りくださいましたし。 記述法 墨書	あり
1958	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	9月23日	数量 1通 内容 朝鮮の事情云々。「能く注意相加へ申度」。 記述法 墨書	あり
1959	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	9月27日	数量 1通 内容 外務卿注文の取調書の控書、「取遣被下度奉願候」。 記述法 墨書	あり
1960	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	9月30日	数量 1通 内容 今朝ご出勤の際お立ち寄りくださいましたし。 記述法 墨書	あり
1961	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	10月5日	数量 1通 内容 今朝は永田町官舎へご出勤の折お立ち寄りくださるべし。 記述法 墨書	あり
1962	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	10月15日	数量 1通 内容 明朝ご出省の路次お立ち寄りくださいましたし。 記述法 墨書	あり
1963	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	10月16日	数量 1通 内容 年度改正一条につき、念のためお出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1964	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	10月20日	数量 1通 内容 経世新報と検査院より云々の一条。経世新報機械買入の件。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1965	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	10月22日	数量 1通 内容 三田私邸へお立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり
1966	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	渡辺国武	10月23日	数量 1通 内容 御出勤の折、お立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり
1967	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	11月21日	数量 1通 内容 御見込の通りの額の誤り、小官引き受け申すべし。お出でを乞う。 記述法 墨書	あり
1968	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月5日	数量 1通 内容 鉄道庁・参謀本部取調着手。 記述法 墨書	あり
1969	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東（松方正義）	〔渡辺国武〕	12月7日	数量 1通 内容 随分多額の減削。 記述法 墨書	あり
1970	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月7日	数量 1通 内容 三田へお立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり
1971	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月9日	数量 1通 内容 枢密院の官制に立ち入りたる秘密云々。 記述法 墨書	あり
1972	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月10日	数量 1通 内容 群馬県一円に関係のある会社につき。「尤手当等之儀は三百円迄」。 記述法 墨書 備考 前欠。	あり
1973	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月13日	数量 1通 内容 井上来たらお知らせ乞う。「予算は是迄之形行ニテハ不通事と彼等も承知罷在と相見候也」。 記述法 墨書	あり
1974	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月19日	数量 1通 内容 今朝、白根を呼び出し説諭、よくよく了解せしものに相見へ云々。 記述法 墨書	あり
1975	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月22日	数量 1通 内容 お見込の条同感。 記述法 墨書	あり
1976	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月25日	数量 1通 内容 ご紙面の趣逐一拝承。明日、明後日の予定。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1977	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	12月26日	数量 1通 内容 ご懇書の趣、至極ごもつとも。 記述法 墨書	あり
1978	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東（松方正義）	〔渡辺国武〕	7日	数量 1通 内容 今日の模様は承知。 記述法 墨書	あり
1979	松方正義書簡 渡辺国武宛	海東（松方正義）	渡辺国武（大蔵省次官）	8日	数量 1通 内容 山県伯へ熟談に取り掛かり申すべし、委細は後ほど。 記述法 墨書 備考 封筒差出人には「大蔵省秘書官」とあり	あり
1980	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武	19日	数量 1通 内容 お立寄りを乞う。 記述法 墨書	あり
1981	松方正義書簡 渡辺国武宛	〔松方正義〕	〔渡辺国武〕	21日	数量 1通 内容 巳代治、井上よりの来書回送。 記述法 墨書	あり
1982	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	渡辺国武		数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1983	松方正義書簡 渡辺国武宛	松方正義	〔渡辺国武（大蔵大臣）〕		数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1984	松田道之書簡 渡辺国武宛	〔松田道之〕	〔渡辺国武〕	明治9年12月16日	数量 1通 内容 明石富彦採用のお礼。立志社の事云々。伊集院云々。熊本山口事件云々。 付属資料 「[8]松田道之（124）～（127）」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1985	松田道之書簡 渡辺国武宛	〔松田道之〕	〔渡辺国武〕	明治11年10月22日	数量 1通 内容 警部志願の者御採用くだされたし。 記述法 墨書	あり
1986	松田道之書簡 渡辺国武宛	〔松田道之〕	〔渡辺国武〕	明治11年10月28日	数量 1通 内容 原田某につき海軍省に照会。 記述法 墨書	あり
1987	松田道之書簡 渡辺国武宛	〔松田道之〕	〔渡辺国武〕	明治14年10月21日	数量 1通 内容 当府庁の諸規則書類送付の事は猶予くだされたし。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1988	松村介石書簡 渡辺国武宛	松村介石(弟子)	渡辺国武	9月13日	数量 1通 内容 牧師の三浦範三を紹介。「何分よろしく願上候」。 付属資料 三浦の名刺、1枚 記述法 墨書	あり
1989	丸山作楽書簡 渡辺国武宛	丸山作楽	□□□□□□ 〔渡辺国武〕	14日	数量 1通 内容 「内閣新組織前途施政方針等聊愚見ヲも陳シ」。 付属資料 「[51]丸山作楽(279)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1990	三井四一郎書簡 渡辺国武宛	三井四一郎	渡辺国武	明治29年4月8日	数量 1通 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
1991	嶺八郎書簡 渡辺国武宛	嶺八郎	渡辺国武	〔明治40年〕3月7日	数量 1通 内容 製糖業について。「韓国糖業二関スル参考材料更ニ御閲覧ニ供し候」。 記述法 墨書 用紙 日韓製糖株式会社創立事務所封筒	あり
1992	宮本知行書簡 渡辺国武宛	宮本知行	上原辺無辺 (渡辺国武)	明治28年3月15日	数量 11枚 内容 禪公について。 記述法 墨書 備考 もとは紙縫りで綴じられていた	あり
1993	三輪欣当書簡 渡辺国武宛	三輪欣当	渡辺国武	10月15日	数量 1通 内容 三輪は伊那県に出仕した三輪林太郎の長男。拝調を請う。 記述法 墨書	あり
1994	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	明治25年8月1日	数量 1通 内容 石炭油一件。「石炭油一件は頗る切迫致居候間、何卒昨日御打合申候通り至急御運び奉願候」。 付属資料 「[3]陸奥宗光(26)～(50)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
1995	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	〔明治26年〕7月19日	数量 1通 内容 海外為替差金の件。「大蔵省の予算中何款何項が右の補充ニ充り居候哉」。 記述法 墨書	あり
1996	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武 (大蔵大臣)〕	〔明治26年〕7月22日	数量 1通 内容 27年度予算につき大蔵省と調整。「貴大臣ニも何卒一步を御譲り本年(廿七年度)之分先ツ是迄通り御据置被下候様御再考被下間敷哉」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
1997	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕10月6日	数量 1通 内容 煙草税則改正につき外国関係考慮の必要あり。「兎も角も外国と争論を引起候義ハ外交上最も拙手段と被存候」。 記述法 墨書	あり
1998	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕10月23日	数量 1通 内容 煙草税則改正につき。「右収税長会議は事実二候哉、又は無根之事二候哉、各公使より被尋候節の心得方有之候間、御一報奉願候」。 記述法 墨書	あり
1999	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治27年1月23日	数量 1通 内容 添田寿一演説書の件。 記述法 墨書	あり
2000	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕5月23日	数量 1通 内容 関税従量税表目につき。 記述法 墨書	あり
2001	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕7月26日	数量 1通 内容 加藤局長特命全権公使任命の件。 記述法 墨書	あり
2002	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕12月9日	数量 1通 内容 井上公使意見書云々。「安広秘書官本日朝鮮より帰国、別封内書井上公使ヨリ指越シ、又同公使意見書は安広持参シテ入貴覽候」。 記述法 墨書	あり
2003	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕12月28日	数量 1通 内容 朝鮮国債の件。「朝鮮国債之件ハ其後中上川等より何力申出候哉」。 記述法 墨書	あり
2004	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕12月30日	数量 1通 内容 伊藤総理より申越の件、ご参考のため通知。 記述法 墨書	あり
2005	伊藤博文書簡 陸奥宗光宛	〔伊藤博文〕	〔陸奥宗光(外務大臣)〕	明治27年歳暮	数量 1通 内容 山本達雄派遣の件。 記述法 墨書 備考 もとは請求記号2004に同封。	あり
2006	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕	数量 1通 内容 御無理御願い云々。「後任者御選択之事御尤二存候」。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2007	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治28年〕1月28日	数量 1通 内容 川田宛書簡草案云々。「唯今総理大臣来訪、先程御話申居候件二関シ川田総裁へ可送書簡草案持参相成」。 記述法 墨書	あり
2008	井上馨書簡 陸奥宗光宛	井上馨(特命全権公使)	陸奥宗光(外務大臣)	明治27年12月4日	数量 6枚 内容 朝鮮内政改革について。 記述法 墨書 用紙 大蔵省野紙 備考 請求記号2007の封筒に同封。請求記号2002の関連資料。	あり
2009	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治28年〕2月20日	数量 1通 内容 川田よりの返信如何。「川田より返答来り候哉、最早何と力井上二返電不致ては不相成候間、若川田より未夕返答無之候へハ、電信ヲ以て一応御催促被下度」。 記述法 墨書	あり
2010	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光(外務大臣)	渡辺国武(大蔵大臣)	明治29年4月13日	数量 1枚 内容 朝鮮国北関諸港の形勢につき報告。 付属資料 報告書写し、5枚 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2011	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治30年〕2月17日	数量 1通 内容 病臥につき欠敬のお詫び。「佳禽沢山御恵投難有拝受」。 記述法 墨書	あり
2012	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武〕	〔明治30年〕2月21日	数量 1通 内容 別紙につきご返答を乞う。 記述法 墨書	あり
2013	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	3月28日	数量 1通 内容 中川審六郎身分の件につき問い合わせ。 記述法 墨書 備考 封筒あり。中川は旧紀州藩士。陸軍士官を経て和歌山県収税長等を歴任。	あり
2014	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	5月4日	数量 1通 内容 和歌山県収税長の件。「何卒同人之御面会迄八後任御取極め無之様くれぐれも願上候」。 記述法 墨書	あり
2015	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	5月5日	数量 1通 内容 三池石炭坑訴訟の一件につき原嘉道紹介。「法学之外多少鉱業学にも相通し居人物八至極実着なるもの二有之候」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2016	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	8月12日	数量 1通 内容 面会謝絶の件。 記述法 墨書	あり
2017	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	9月2日	数量 1通 内容 晚餐招待。 記述法 墨書	あり
2018	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	9月22日	数量 1通 内容 内閣への報告書送付。「別紙ハ公然内閣江報告致し置候へ共、貴大臣にハ特ニ御送付申上候」。 記述法 墨書	あり
2019	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武〕	12月3日	数量 1通 内容 本会議出席依頼。 記述法 墨書 備考 前欠。	あり
2020	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	12月22日	数量 1通 内容 大越成徳の件。「大越成徳之件ハ御懇切ナル御要求ニ付本人及ヒ林次官等説諭ヲ加へ漸々御望ニ応し候様公然御紹介被下度、奉願候」。 記述法 墨書 備考 封筒あり。明治26年12月、外交官であった大越を横浜税関長に就任させた時のものカ。	あり
2021	陸奥宗光書簡 渡辺国武宛	〔陸奥宗光〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	19日	数量 1通 内容 外務省臨時部の件。「外務省臨時部ハ到底今日之会議ニ上ラズと存候へ共、若シ順番ニ相成候へハ御議決御延引被下度」。 記述法 墨書	あり
2022	村木正憲書簡 渡辺国武宛	村木正憲(佐賀県収税長)	〔渡辺国武(元大蔵大臣)〕	明治28年3月2日	数量 1通 内容 渡辺の逓信大臣就任祝。 記述法 墨書	あり
2023	森本泉書簡 渡辺国武宛	森本泉	〔渡辺国武〕	大正3年1月16日	数量 1通 内容 大田原に開墾記念の碑建設につき伺い。「別紙相添此之度奉願上候」。 付属資料 西之原開墾記念碑文(谷誠之(那須郡長))、3枚 記述法 墨書	あり
2024	森本泉書簡 渡辺国武宛	森本泉	〔渡辺国武〕	2月18日	数量 1通 内容 大田原開墾の碑文ご斧正のこと。 記述法 墨書 備考 請求記号2023の封筒に同封。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2025	守矢玄医書簡 渡辺国武宛	守矢玄医	渡辺国武	明治28年3月23日	数量 1通 内容 渡辺の快癒祝、通信大臣就任祝。写真一葉頂戴したい。「乍恐御大礼服ナレバ猶以難有仕合奉存候」。 記述法 墨書	あり
2026	柳原前光書簡 渡辺国武宛	柳原前光	渡辺国武	3月31日	数量 1通 内容 詞の話。「小生も往時五回清国二連航、漸研究候へ共、其後廃絶」。 付属資料 「[24]柳原前光(172)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
2027	山内豊範書簡 渡辺国武宛	山内豊範	小池国武(渡辺国武)(高知県権令)	〔明治11年〕9月27日	数量 1通 内容 拙手書返還御礼。 付属資料 「[46]山内豊範(274)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
2028	山県有朋書簡 渡辺国武宛	〔山県有朋〕	渡辺国武	〔明治24年〕2月11日	数量 1通 内容 67条に関する条項について。 記述法 墨書	あり
2029	山県有朋書簡 渡辺国武宛	〔山県有朋〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	明治25年9月10日	数量 1通 内容 明日午後には帰京、明後日午後予算会議開催。 記述法 墨書	あり
2030	山口英風書簡 渡辺国武宛	山口英風	渡辺国武	〔明治29年〕6月7日	数量 1通 内容 中央鉄道、岡谷鉄道敷設の件。「此説之如く二御座候得者、岡谷鉄道之軽便鉄道八極めて必要二相成申候」。 記述法 墨書	あり
2031	山田禎三郎書簡 渡辺国武宛	山田禎三郎	渡辺国武	〔明治40年〕3月3日	数量 1通 内容 利根川水力事業について。「御賛成を表せられ度」。 記述法 墨書	あり
2032	由利公正書簡 渡辺国武宛	由利公正	渡辺国武(大蔵大臣)	明治28年3月14日	数量 1通 内容 渡辺の快気祝い。 記述法 墨書	あり
2033	横井藻誉書簡 渡辺国武宛	横井藻誉	〔渡辺国武〕	〔明治40年〕1月1日	数量 1通 内容 新年の挨拶。 記述法 墨書	あり
2034	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治27年〕5月12日	数量 1通 内容 政府提出鉄道に関する法案につき。 記述法 墨書	あり
2035	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	渡辺国武	〔明治30年〕1月28日	数量 1通 内容 京都行の事云々。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2036	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	〔明治26年〕1月5日	数量 1通 内容 負傷見舞。「一昨日八不意之御落馬二より御怪我被成候趣」。 記述法 墨書	あり
2037	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	渡辺国武(大蔵大臣)	8月12日	数量 1通 内容 徳島県水害一件。「此際偏二御尽力被下度希望二不堪候」。 記述法 墨書	あり
2038	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	〔芳川顕正〕	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	9月3日	数量 1通 内容 山將軍出発見送りにつき。 記述法 墨書	あり
2039	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	〔小池国武(渡辺国武)〕	12月15日	数量 1通 内容 撫養港電信架設の件。 付属資料 「[14]芳川顕正(153)～(159)」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
2040	芳川顕正書簡 渡辺国武宛	芳川顕正	小池国武(渡辺国武)	12月17日	数量 1通 内容 撫養港電信架設の件。 記述法 墨書	あり
2041	吉田六三郎書簡 渡辺国武宛	吉田六三郎	〔小池国武(渡辺国武)〕	〔明治前半〕3月15日	数量 1通 内容 地方行政、税制云々。 記述法 墨書 備考 吉田は大蔵省における渡辺の同僚。明治14年死去。	あり
2042	米吉書簡 渡辺国武宛	米吉	〔渡辺国武〕	8月26日	数量 1通 内容 地所買い上げの件。 記述法 墨書	あり
2043	渡辺清書簡 渡辺国武宛	渡辺清	渡辺国武	〔明治15年〕10月24日	数量 1通 内容 参事院、元老院改革等の件。岩佐専太郎を警官に推薦。 付属資料 「[49]渡辺清277」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
2044	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	渡辺国武	〔明治42年〕7月16日	数量 1通 内容 病氣見舞い、様子伺い。「不日二全快の域二可相至ト信し申候」。 記述法 墨書	あり
2045	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	渡辺国武	〔明治42年〕8月21日	数量 1通 内容 国武療養の件。「来月中旬二八帰京更二脳病二適当なる伊豆山二此秋冬二八転地静養尤可然ト考申候」。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2046	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	渡辺千秋	渡辺国武	〔大正4年〕7月27日	数量 1通 内容 近況報告。「涼氣二多く」「大分夕立之模様二有之候間」。 記述法 墨書	あり
2047	渡辺千秋書簡 渡辺国武・高山逸子宛	渡辺千秋	渡辺国武・ 〔高山逸子〕	〔大正4年〕8月20日	数量 1通 内容 日光の様子伺い。近況報告。 記述法 墨書	あり
2048	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	〔渡辺国武〕	1月14日	数量 1通 内容 昨夜帰京。 記述法 墨書	あり
2049	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	〔渡辺国武〕	3月24日	数量 1通 内容 渡辺千夏結婚の件。「目録之通御祝給り誠二心入之品々二付」。 記述法 墨書	あり
2050	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	〔渡辺国武〕	7月25日	数量 1通 内容 篆刻について。 記述法 墨書	あり
2051	渡辺千秋書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千秋〕	〔渡辺国武〕	10月6日	数量 1通 内容 収税上の事云々。 記述法 墨書	あり
2052	渡辺千春書簡 渡辺国武宛	渡辺千春	叔父上(渡辺国武)	8月4日	数量 1通 内容 「炎暑難耐候」。漢詩文。 記述法 墨書	あり
2053	渡辺千冬電報 渡辺国武宛	渡辺千冬	渡辺国武	明治29年7月28日	数量 1枚 内容 昨夜のこと取り消し。 記述法 ペン	あり
2054	渡辺千冬書簡 渡辺国武宛	渡辺千冬	渡辺国武	〔明治42年〕7月24日	数量 1通 内容 近況報告と今後の予定。「私共も愈明後日廿六日出発、御地へ罷越度決定仕り度候」。 記述法 墨書	あり
2055	渡辺千冬書簡 渡辺国武宛	〔渡辺千冬〕	父上(渡辺国武)	6月3日	数量 1通 内容 鉄道局への奉職を希望する西尾三郎と面会するよう国武に依頼。 記述法 墨書	あり
2056	渡辺千冬書簡 渡辺国武宛	渡辺千冬	渡辺国武	7月24日	数量 2枚 内容 挨拶状。前欠。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2057	渡辺長謙書簡 渡辺国武宛	渡辺長謙	渡辺国武	明治41年5月17日	数量 1枚 内容 渡辺千冬の当選祝い。 記述法 墨書 用紙 葉書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2058	渡辺義郎書簡 渡辺国武宛	渡辺義郎（新潟税関長）	〔渡辺国武〕	〔明治28年〕3月20日	数量 1通 内容 逓信大臣就任のお祝い。病氣見舞い。 記述法 墨書	あり
2059	渡辺義郎書簡 渡辺国武宛	渡辺義郎	渡辺国武	明治28年3月24日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
2060	渡辺義郎書簡 渡辺国武宛	渡辺義郎	渡辺国武	〔明治29年〕4月15日	数量 1通 内容 新税案について。広島より近況報告。胃病について。 記述法 墨書	あり
2061	渡辺義郎書簡 渡辺国武宛	渡辺義郎	渡辺国武	〔明治43年〕9月1日	数量 1通 内容 次男の大学入学につき渡辺邸に寄宿を依頼。「尊邸に寄宿を願ひ薫陶を受けさせ度」。 記述法 墨書	あり
2062	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		渡辺国武	明治27年1月26日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
2063	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕	草湖□カ	〔渡辺国武〕	1月29日	数量 1通 内容 森季彦を岩本のあとにご採用くださいましたし。 記述法 墨書	あり
2064	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕	[ ]	〔渡辺国武〕	2月14日	数量 1通 内容 ご内話の件御猶予を乞う。 記述法 墨書	あり
2065	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕	[ ]	〔小池国武（渡辺国武）〕	3月23日	数量 1通 内容 森本後凋、高知県へ就職依頼。「当県へ奉職致度含二而島根県へ八辞表差出」。 記述法 墨書	あり
2066	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		渡辺国武	4月4日	数量 1通 内容 伊藤博文攻撃文。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2067	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		渡辺国武	4月4日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2068	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕	[ ]	〔渡辺国武〕	4月6日	数量 1通 内容 船遊びの約束。 記述法 墨書	あり
2069	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		〔渡辺国武〕	6月25日	数量 1通 内容 準備金一条。 記述法 墨書	あり
2070	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		〔渡辺国武〕	9月11日	数量 1通 内容 和歌1首。 記述法 墨書	あり
2071	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		〔渡辺国武〕	11月30日	数量 1通 内容 お忘れの書類返却。 記述法 墨書	あり
2072	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕	昇カ	〔渡辺国武〕	16日	数量 1通 内容 今朝参上出来ず。 記述法 墨書	あり
2073	〔差出人不明書簡 渡辺国武宛〕		〔渡辺国武 (大蔵卿)〕	16日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 封筒のみ。	あり
2074	〔差出人不明書簡〕				数量 1通 内容 鳥取の商人、平井なるもの面会を乞う。「尤大ナル山師ニテ已ニ旧鳥取県ニモ三吉氏長官ノトキ巧言以テ多少之金員ヲ借用」。 記述法 墨書 備考 請求記号1658の内封筒に同封。	あり

2. 渡辺国武その他書簡 (2075～2090)

2075	渡辺国武書簡	〔渡辺国武〕		7月8日	数量 1通 内容 試験の結果、勉強について。「学問二重キヲ置カサルノ所致ト存候」。千冬もしくは武に宛てたものカ。 記述法 墨書	あり
2076	渡辺国武書簡 仏教伝道会宛	渡辺国武	仏教伝道会		数量 1通 記述法 墨書 備考 原状では未開封であった	あり
2077	井上毅書簡	〔井上毅〕		〔明治23年〕	数量 1通 内容 明日改由合併党は復仇の一戦として23年の予算は二十四年の既定たるべからずとの説を呈出する由。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2078	華族談話会書簡	華族談話会		明治43年8月6日	数量 1通 内容 子爵議員補欠選挙につき、8日午後2時より顧問会並びに常務委員会開催、来会を乞う。 記述法 印刷	あり
2079	華族談話会書簡	華族談話会		明治43年8月6日	数量 1通 内容 子爵議員補欠選挙につき、9日午後3時より臨時総会開催、来会を乞う。 記述法 印刷 備考 請求記号2078の内封筒に同封。	あり
2080	松平正直書簡 井上毅宛	〔松平正直〕	〔井上毅(大臣)〕	23日	数量 1通 内容 岡次郎太郎辞職の件。「生ノ好意上之取計ヲ以テ諭旨免官之取扱ニ願度」。 記述法 墨書 備考 封筒あり、封筒は井上毅から大蔵大臣に宛てたもの。	あり
2081	松村介石書簡 高山宛	松村介石	高山	3月15日	数量 1通 内容 寄席の件。 記述法 墨書	あり
2082	陸奥宗光書簡 井上毅宛	〔陸奥宗光〕	〔井上毅〕	2月28日	数量 1通 内容 朵雲拝読、頗る同感。 記述法 墨書	あり
2083	陸奥宗光書簡 白井宛	〔陸奥宗光〕	白井	3月23日	数量 1通 内容 家の間取りについて。 記述法 墨書	あり
2084	山県有朋書簡 松方正義宛	山県有朋	〔松方正義(大蔵大臣)〕	〔明治28年〕6月28日	数量 1通 内容 大阪府地租変更の件。 付属資料 (1) 「[12]山県有朋(147)～(148)」と記載されたメモ、1枚/ (2) 「第三者間書翰」と記載されたメモ、1枚 記述法 墨書	あり
2085	〔差出人不明書簡 松方正義宛〕		〔松方正義(大蔵大臣)〕	3月24日	数量 1通 内容 別冊ご返却。 記述法 墨書	あり
2086	〔差出人不明書簡〕			〔明治27年〕	数量 1通 内容 太田黒の誤納金の件。「太田黒ノ誤納金ハ知事ヲ被告トシ民事上ノ訴ヲ為スヘシ」。歩入会社基金云々他。 記述法 墨書	あり
2087	〔差出人不明書簡〕			9月16日	数量 1通 内容 御前様、千冬様の近況。下痢や天候について。 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2088	〔差出人不明書簡〕				数量 1通 内容 誤納金一件。 記述法 墨書 備考 後欠	あり
2089	〔差出人不明書簡〕				数量 1通 内容 生糸改良会社社長人選の件。 記述法 墨書 備考 後欠	あり
2090	〔差出人不明書簡〕				数量 1通 内容 徳島壮兵召集云々。 記述法 墨書 備考 後欠	あり

3. 渡辺国武関係書類 (2091~2282)

2091	新弁奸論・呈松方大蔵大輔閣下	小池国武(渡辺国武)	〔松方正義(大蔵大輔)〕	明治9年12月28日	数量 1冊 内容 前者は民会設立と外征を主張する有力者を批判的に論じたもの。後者は高知県権大参事岩神昂の進退についての意見書。 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2092	〔嘆願書〕	桑津一兵衛(高知警察署詰警部惣代)	小池国武(渡辺国武)(権令)	明治10年8月16日	数量 1枚 内容 西南戦争等により人員が不足しているため警部増員を嘆願。 記述法 墨書 用紙 高知県野紙	あり
2093	松方首相ノ下問二答フ			〔明治24年〕7月18日	数量 4枚 内容 第二議会の方針についての意見を述べたもの。 記述法 墨書 用紙 法制局野紙	あり
2094	慶応義塾大学部規則			明治24年	数量 1冊 記述法 印刷(活字)	あり
2095	〔第二議会における議会対策〕			〔明治24-5年〕	数量 9枚 記述法 墨書 用紙 内閣野紙	あり
2096	『諏訪青年会誌』第23号	小平保蔵[編]、小川平吉[発行]		明治25年6月9日	数量 1冊 内容 「渡辺千秋君伝」掲載。 記述法 印刷	あり
2097	『諏訪青年会誌』第24号	小平保蔵[編]、小川平吉[発行]		明治25年9月19日	数量 1冊 内容 「渡辺千秋君伝」掲載。 記述法 印刷	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2098	『諏訪青年会誌』 第25号	小平保蔵 [編]、小川平 吉[発行]		明治25年12月 7日	数量 1冊 内容 「渡辺千秋君伝」掲載。 記述法 印刷	あり
2099	『東邦協会報告』 32	東邦協会		明治26年12月 26日	数量 1冊 記述法 印刷(活字)	あり
2100	日本大成本義	福羽美静 [著・発行]		明治28年1月2 1日	数量 1冊 記述法 印刷[活字](活字)	あり
2101	案内状	千早定朝(法 隆寺住職大僧 正)	(渡辺国武 (大蔵大 臣))	明治28年3月	数量 1枚 内容 法隆寺伽藍諸堂の仏像開扉、什宝展覧 につき案内。 付属資料 法隆寺伽藍縁起並宝物目録、3枚 記述法 印刷	あり
2102	〔海嘯被害地方へ の救恤を訴える 文〕	崇徳会本部		明治29年	数量 1枚 内容 朝野名士の賛助を請う。書画の揮毫を 依頼。 記述法 印刷(活字)	あり
2103	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。永興、平壤の状況。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2104	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。御用船勝山丸着港。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2105	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。露国士官、測量人の動 向。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2106	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。暴徒、露国士官の動向。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2107	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。暴徒退却。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2108	中川電報 土屋宛	中川(少佐)	土屋(大本営 大佐)	明治29年3月2 日	数量 1枚 内容 電報の写し。命令書落手。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2109	覚〔学資金の領収 書〕	森本泉(慶応 義塾大学部)	渡辺国武	明治29年5月9 日	数量 1枚 内容 学資金拝受。 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2110	草稿	渡辺国武(大蔵大臣)	(明治天皇)	明治34年5月3日	数量 1綴(6枚) 内容 第4次伊藤内閣の総辞職をめぐって渡辺と他の閣僚が対立し、渡辺が単独参内した際の上奏文の草稿。 記述法 墨書 用紙 大蔵省野紙	あり
2111	初端午園遊会来賓名簿	渡辺執事		明治39年7月5日	数量 1冊 記述法 墨書	あり
2112	端午祝物控			(明治39年)	数量 1冊 記述法 墨書 備考 請求記号2111と同じ時期に作成されたものか。	あり
2113	領収証	官幣中社諏訪神社勅祭創始千二百年祭記念建碑同志会	渡辺国武	大正元年12月14日	数量 1枚 記述法 印刷(活字)	あり
2114	郷邑の葵	山田一美		昭和8年8月5日	数量 1冊 内容 渡辺千秋・国武らについて記した「長地の輝き」と、長地村の歴史について述べた「長地の訪れ」の2編からなる。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2115	渡辺国武について	斎藤虎五郎[述]、大蔵省大臣官房資料統計管理官付財政史室[編]		昭和41年7月15日	数量 1冊 内容 渡辺国武についての談話速記録。斎藤は渡辺千秋の女婿であった塩川三四郎の妹を妻とした関係から渡辺千秋、国武と親しかった。 記述法 印刷[謄写]	あり
2116	〔金庫に関するメモ〕	陸奥宗光	〔渡辺国武(大蔵大臣)〕	12月27日	数量 1枚 内容 中央金庫、大阪本金庫等の現在額や受入予定額等を記載。 記述法 ペン 備考 請求記号2020の封筒に同封。	あり
2117	〔議院の予算議決権と行政権との関係について〕				数量 3枚 記述法 墨書 用紙 内閣野紙	あり
2118	税率ヲ減シ減スル所ノ金額ヲ以テ各地ニ備荒ノ制ヲ設クル事				数量 8枚 内容 0.5%の地租軽減を行うとともに、この減税を利用して各地に備荒貯蓄の制度を設けることを主張。 記述法 墨書 用紙 内閣野紙、法制局野紙、枢密院野紙	あり
2119	〔予算委員会における俸給削減の立案について〕				数量 3枚 記述法 墨書 用紙 文事秘書局野紙	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2120	〔議会对策について〕				数量 7枚 記述法 墨書 用紙 内閣野紙、宮内省野紙、法制局野紙、衆議院野紙	あり
2121	〔議院に対する答弁草稿〕				数量 4枚(同一内容のもの2点) 内容 「政府ノ宣言ニ対シ議員若シ推シテ政府ノ不同意ノ理由ヲ問ハバ政府ハ左ノ趣意ヲ以テ答フヘシ」。 記述法 墨書 用紙 文事秘書局	あり
2122	史料通信協会叢誌第四編後目次				数量 3枚 内容 書籍の一部。P1-4。 記述法 印刷	あり
2123	渡辺国武閣下逸話	岡田すゑ子 (日本赤十字社準備看護婦長)			数量 1冊 内容 大正8年の渡辺国武の死後、看護婦長によって記された看護余録。 付属資料 香奠返し表書き、1枚 記述法 墨書	あり
2124	履歴書				数量 1冊 内容 明治28年までの渡辺国武の履歴書。 記述法 墨書	あり
2125	渡辺国武書簡 村木宛	渡辺国武	村木(東宮太夫)		数量 1通 内容 病氣静養中のため東宮の行啓に参殿できないことを謝す文。 記述法 墨書 備考 下書き	あり
2126	写真(渡辺国武、正木才造)				数量 3枚 内容 「当時才造年二十七八余亦二十四五」。 付属資料 (1) 写真、3枚 / (2) 渡辺の解説、1枚 記述法 写真	
2127	農業銀行補助法				数量 1枚 内容 第1条、2条のみ記載。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2128	農業銀行補助法				数量 1枚 内容 第5条、6条のみ記載。 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2129	農業銀行補助法甲案				数量 3枚 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2130	農業銀行補助法乙案				数量 3枚 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2131	農業銀行補助法丙案				数量 3枚 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2132	農業銀行補助法				数量 3枚 記述法 印刷[謄写(手書)]	あり
2133	鎮南事略	{渡辺国武}			数量 1冊 内容 西南戦争に際して、高知県権令であった渡辺がどのように対応したのかを備忘のためにまとめたもの。 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2134	禅機ト哲学	渡辺国武 [著]、鴻盟社 [出版]		明治31年12月19日	数量 1冊 記述法 印刷	あり
2135	禅機ト哲学	渡辺国武 [著]、鴻盟社 [出版]		明治35年9月10日	数量 2冊 内容 初版は明治31年12月19日。 記述法 印刷	あり
2136	戦後経営 全 附録 麻溪閑話	渡辺国武		明治38年12月28日	数量 5枚 内容 明治39年1月に電報新聞社から出版された渡辺国武『渡辺子爵戦後経営談』の草稿の一部。 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209~2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2137	関係哲学綱要	渡辺国武		明治39年	数量 1綴 記述法 墨書	あり
2138	哲学一家言提要	渡辺国武		明治40年1月	数量 1冊 内容 草稿。 記述法 墨書	あり
2139	哲学新系統一家言	渡辺国武		明治42年3月	数量 1綴(8枚) 内容 小引と目録。 記述法 墨書	あり
2140	雑著七種	無辺侠禅(渡辺国武)			数量 1綴(32枚) 内容 「賽交梨」、「如露観」、「会計法之精神」、「二十三年間財政結果」、「政談一夕話」、「政海一瀾」、「送議員諸君帰卿書」の7編の文章を収めたもの。 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2141 ~ 2181	哲学新系統一家言 (草稿)					あり
2141	講述問題	{渡辺国武}			数量 1綴(13枚) 記述法 墨書	あり
2142	目録	{渡辺国武}			数量 5枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2143	緒論	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2144	引	〔渡辺国武〕			数量 2枚 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2145	跋	〔渡辺国武〕			数量 2枚 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2146	序	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2147	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 6枚 内容 「問題に就て一言すれば…」 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2148	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 3枚 内容 「第二百二十九節」 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2149	跋	〔渡辺国武〕			数量 2枚 記述法 墨書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2150	規範哲学研究の結果提要	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2151	第一章 哲学ノ定義	〔渡辺国武〕			数量 6枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2152	第二章 哲学ノ区分	〔渡辺国武〕			数量 11枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2153	第三章 帰納哲学研究ノ四種方面	〔渡辺国武〕			数量 12枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2154	第四章 主観的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 11枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2155	第五章 客観的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 11枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2156	第六章 相待的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 12枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2157	第七章 絶待的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 5枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2158	第八章 帰納哲学研究ノ結果	〔渡辺国武〕			数量 15枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2159	第九章 演繹哲学研究ノ四種方面	〔渡辺国武〕			数量 12枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2160	第十章 理法的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 17枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2161	第十一章 契機的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 24枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2162	第十二章 表詮的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 7枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2163	第十三章 遮詮的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 7枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2164	第十四章 演繹哲 学研究ノ結果	〔渡辺国武〕			数量 11枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2165	第十五章 現象哲 学研究ノ四種方面	〔渡辺国武〕			数量 7枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2166	第十六章 物象的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 9枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2167	第十七章 心象的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 8枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2168	第十八章 社会的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 9枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2169	第十九章 範疇的 方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 15枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2170	第二十章 現象哲学研究ノ結果	〔渡辺国武〕			数量 8枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2171	本論 第四部 規範哲学	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2172	第二十一章 規範哲学研究ノ四種方面	〔渡辺国武〕			数量 9枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2173	第二十二章 倫理的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 11枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2174	第二十三章 形而上的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 15枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2175	第二十四章 審美的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 13枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2176	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 2枚 内容 「素は各自四種表現…」 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2177	第二十五章 宗教的方面検覈ノ四種要素	〔渡辺国武〕			数量 15枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2178	第二十六章 規範哲学研究ノ結果	〔渡辺国武〕			数量 8枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143~2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2179	第二十七章 本哲学系統全体ノ連絡	〔渡辺国武〕			数量 10枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2180	第二十八章 哲学研究全体ノ結果	〔渡辺国武〕			数量 9枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2181	講述余論	〔渡辺国武〕			数量 12枚 付属資料 白と赤のくりひも、1本 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2143～2181は、紐（請求記号2181付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2182 ～ 2188	哲学新系統一家言 (草稿)					あり
2182	浄書（完全）子爵渡辺国武著、哲学新系統一家言	渡辺国武			数量 1枚 内容 表紙のみ。 記述法 墨書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2183	子爵渡辺国武著、哲学新系統一家言	渡辺国武			数量 1綴 内容 序～第2章。 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2184	本論 第一部 帰納哲学	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第3章～第8章。 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2185	本論 第二部 演繹哲学	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第9章～第14章。 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2186	本論 第三部 現象哲学	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第15章～第20章。 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2187	本論 第四部 規範哲学	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第21章～第26章。 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2188	結論	〔渡辺国武〕			数量 1綴 内容 第27、28章、講述余論。 付属資料 緑色のくくりひも、1本 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2182～2188は、紐（請求記号2188付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2189	天竜道人伝	渡辺国武			数量 1綴 記述法 墨書 用紙 富嘉山罫紙	あり
2190	天竜道人伝	渡辺国武			数量 1綴 内容 請求記号2-2189の草稿。 記述法 墨書 用紙 富嘉山罫紙	あり
2191	直訳聖書（草稿）	渡辺国武[訳]			数量 1枚 記述法 墨書	あり
2192	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「は無いので有るが…」 記述法 墨書 備考 前欠	あり
2193	復活後語（草稿）	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
2194	東西古今哲学宗教一貫玄義（草稿）	〔渡辺国武〕			数量 19枚 記述法 墨書	あり
2195	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「したる所の福音書等の…」 付属資料 白紙、1枚 記述法 墨書	あり
2196	直訳聖書（草稿）	渡辺国武			数量 4枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2197	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「森林書奥義書経書等…」 記述法 墨書	あり
2198	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「第一章 東西古今宇宙観…」 記述法 墨書	あり
2199	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「が此の全宇宙一切万有…」 記述法 墨書	あり
2200	復活真詮 (草稿)	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
2201	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「訳法に自ら異なる所無きこと…」 記述法 墨書	あり
2202	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「と宗教との連絡に就て…」 記述法 墨書	あり
2203	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「て仕舞ふ…」 記述法 墨書	あり
2204	〔論文草稿〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「四種方面と四種系統…」 記述法 墨書	あり
2205	〔草稿〕「哲学宗教は皆此の連絡を…」	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書	あり
2206	東亜哲学判釈論 (草稿)	渡辺国武			数量 1冊 記述法 墨書	あり
2207	日英独仏四語対訳 仏教哲学玄義定説 (草稿)					あり
2207-1	表紙	渡辺国武			数量 3枚 付属資料 書籍案内、1枚/進呈状、1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐(請求記号2207-33)で括られた状態で保存されていた。付属資料は袋綴じのなかに二つ折りで行われていた	あり
2207-2	〔定説抜書〕	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐(請求記号2207-33)で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2207-3	目録、仏教哲学玄義講述大意	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-4	第1章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 付属資料 書名カ書上げ、1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。付属資料は請求記号2207-5との間に挟まれていた。	あり
2207-5	第2章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-6	第3章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-7	第4章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-8	第5章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-9	第6章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-10	第7章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-11	第8章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2207-12	第9章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-13	第10章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-14	第11章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-15	第12章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-16	第13章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-17	第14章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-18	第15章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-19	第16章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-20	第17章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2207-21	第18章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-22	第19章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-23	第20章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-24	第21章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-25	第22章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-26	第23章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-27	第24章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-28	第25章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-29	第26章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2207-30	第27章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-31	第28章	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-32	仏教哲学玄義講述 余論	〔渡辺国武〕			数量 1綴 記述法 墨書 備考 請求記号2207-1～32は紐（請求記号2207-33）で括られた状態で保存されていた。	あり
2207-33	〔紙片、括り紐〕				数量 2点 記述法 印刷	あり
2208	豪胆—渡辺国武—				数量 1枚 内容 渡辺の小伝。『信州の人脈』（信濃毎日新聞社、1967）の一部をコピーしたもの。 記述法 印刷	
2209～2274	渡辺子爵 戦後経営談（草稿）					あり
2209	戦後経営 一 国民経済力の発展を以て戦後経営第一の目的方針第一の精神骨髄と為すべし	渡辺国武			数量 1綴（4枚） 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2210	戦後経営 一 戦後経営第一の目的方針第一の精神骨髄	〔渡辺国武〕			数量 1綴（5枚） 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2211	戦後経営 一 国民経済力の発展	〔渡辺国武〕			数量 1綴（4枚） 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2212	戦後経営 二	〔渡辺国武〕			数量 1綴（4枚） 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2213	戦後経営 二 戦後経営の条目及び其他に就て	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2214	戦後経営 二 海外事業の保護	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2215	戦後経営 二 戦後経営は日本目下の境遇に在りては必しも困難の業に非ず	〔渡辺国武〕			数量 4枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2216	戦後経営 三 戦後経営の条目に就て	〔渡辺国武〕			数量 4枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2217	戦後の経営 三	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2218	戦後の経営 三 満韓経営の資本	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (5枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2219	戦後経営 三 戦後経営は日本目下の境遇に在りては必しも困難の業に非ず	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2220	戦後経営 四 国債償還の為に基金を設立するの得失に就て	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2221	戦後の経営 四	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2222	戦後経営 四 内閣責任実権の名実	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2223	戦後経営 四	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2224	戦後経営 五 国債償還基金設置に就て	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2225	戦後の経営 五	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2226	戦後経営 五 減債基金設置の得失に就て	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2227	戦後経営 六 御用新聞の筆鋒に就て首相に忠告す	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2228	戦後の経営 六 減債基金設置の得失	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2229	戦後の経営 七	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2230	戦後の経営 七 内閣責任の名実	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2231	第七之続	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2232	戦後経営 七 内外債論及び戦後経営の資本 中	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2233	戦後の経営 八 国債募集の経画	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2234	戦後経営 八 戦後経営の資本 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2235	戦後経営 八 内外債論及び戦後経営の資本 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴(5枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2236	戦後経営 八 内外債論及び戦後経営一般の資本 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2237	戦後経営 八 内外債論及び戦後経営の資本 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2238	戦後経営 九 政府当然の成務	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2239	戦後経営 九 戦後経営の資本 上	〔渡辺国武〕			数量 1綴(4枚) 付属資料 紙縫り、2点 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2240	戦後経営 十 外交の方針	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書、朱書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2241	戦後経営 十 旅順大連経営の手始	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2242	戦後経営 十 外交の刷新	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2243	戦後経営 十二 財政経画の根本的理想 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2244	戦後経営 十六 韓国統監の人物	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2245	戦後経営 十七 三十九年度予算概要を読む	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2246	戦後経営 十七 撫順炭鉱と東清鉄道	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2247	戦後経営 十八 三十九年度予算概要を読む 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり
2248	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「歳々茲に改れり殆んど二年間に涉りたる…」 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐(請求記号2274付属資料)で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2249	戦後経営 十九 読 三十九年度予算概 要の余り 上	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2250	戦後経営 二十 読 三十九年度予算概 要の余り 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2251	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「者果して能く此大勢を達観通視し て…」 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2252	戦後経営 二十三 海陸軍備 上	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2253	戦後経営 二十四 海陸軍備 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2254	戦後経営 二十五 農工商三業 上	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2255	戦後経営 二十六 農工商三業 下	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2256	戦後経営 二十七 革新の両方面	〔渡辺国武〕			数量 1綴 (4枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり
2257	戦後経営 二十七 画竜点睛	〔渡辺国武〕			数量 3綴 (12枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料) で括られた状態 で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2258	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「然り而して軍備拡張は…」 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2259	戦後経営 二十八完 大要を一括して論ず	〔渡辺国武〕			数量 1綴（4枚） 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2260	麻溪閑話 一 露国の民心	〔渡辺国武〕			数量 1綴（2枚） 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2261	麻溪閑話 六 勇もあり情もあり洒落にして真面目なる人	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2262	麻溪閑話 七 福沢先生	〔渡辺国武〕			数量 1綴（2枚） 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2263	麻溪閑話 十七 神使示現	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2264	麻溪閑話 二十 世界第一の「スケッチング」（氷すべり）場	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2265	麻溪閑話 二十五 宇宙と我	〔渡辺国武〕			数量 1綴（3枚） 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり
2266	麻溪閑話 二十七 国家学と医術学	〔渡辺国武〕			数量 1綴（2枚） 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐（請求記号2274付属資料）で括られた状態で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2267	麻溪閑話 二十六 囲碁と「ストラテ ジー」	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2268	麻溪閑話 二十八 詩趣恋愛趣	〔渡辺国武〕			数量 1綴(2枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2269	麻溪閑話 二十九 小説と宗教	〔渡辺国武〕			数量 1綴(2枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2270	〔箇所不明〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 内容 「速やかに之を整頓し拡張し置く に…」 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2271	麻溪閑話 三十 政 卜八正也	〔渡辺国武〕			数量 1枚 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2272	麻溪閑話 世説新 語	〔渡辺国武〕			数量 1綴(2枚) 内容 渡辺国武『』(電報新聞社、1906) 草稿(一部) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2273	新聞紙本分の立脚 地	〔渡辺国武〕			数量 1綴(3枚) 記述法 墨書 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり
2274	〔書誌事項〕	〔渡辺国武〕			数量 1枚 付属資料 白と赤のくくりひも、2本 記述法 墨書 用紙 原稿用紙 備考 請求記号2136、2209～2274は紐 (請求記号2274付属資料)で括られた状態 で保存されていた。	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2275	開眠睡始末・仏教活眼論	邊無辺居士 (渡辺国武)			数量 1冊 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2276	判一切諸教論	〔渡辺国武〕			数量 1冊 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2277	仏教活眼論	渡辺国武			数量 1冊 記述法 墨書 用紙 野紙 備考 判一切諸教論を改題したもの。	あり
2278	仏法活眼論	〔渡辺国武〕			数量 1冊 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2279	仏家哲学史				数量 1冊 記述法 墨書 用紙 野紙	あり
2280	Theorem of the Secret of Buddhist Philosophy	渡辺国武			数量 13枚 内容 「仏教哲学の秘密の定理」 記述法 タイプ 備考 英文。4言語による比較用翻訳。	あり
2281	Der Lehrsatz der Geheimniss von Buddhistischer Philosophie	渡辺国武			数量 13枚 内容 「仏教哲学の秘密の定理」 記述法 タイプ 備考 独文。4言語による比較用翻訳。	あり
2282	LeThéorème du Secret de la Philosophie Bouddhique	渡辺国武			数量 13枚 内容 「仏教哲学の秘密の定理」 記述法 タイプ 備考 仏文。4言語による比較用翻訳。	あり

4. 渡辺国武履歴  
資料(2283~2369)

2283	辞令(伊那県出仕申付候事)	伊那県	小池国武(渡辺国武)	明治3年9月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2284	辞令(伊那県十四等出仕申付候事)	伊那県	小池国武(渡辺国武)	明治3年9月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2285	通知(職務差免候事)	伊那県	〔小池国武(渡辺国武)(伊那県権大属)〕	明治3年9月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2286	辞令(任伊那県少属)	伊那県	小池国武(渡辺国武)	明治3年11月	数量 1枚 記述法 墨書	あり



資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2287	辞令（判任伊那県権大属）	伊那県	源国武（渡辺国武）	〔明治4年〕1月17日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 名字に「小池」と併記。	あり
2288	辞令（任伊那県権大属）	伊那県	〔小池国武（渡辺国武）（伊那県少属）〕	明治4年2月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2289	辞令（任庶務少佑）	民部省	小池国武（渡辺国武）	明治4年4月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2290	通知（民部省ヨリ御用）	伊那県	小池国武（渡辺国武）（伊那県権大属）	明治4年4月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2291	辞令（斗南藩出張申付候事）	民部省	小池国武（渡辺国武）（庶務少佑）	明治4年6月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2292	辞令（任権中録）	大蔵省	小池国武（渡辺国武）	明治4年9月29日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2293	辞令（任租税権中属）	渡辺清（大蔵大丞）	小池国武（渡辺国武）（大蔵権中録）	明治5年2月15日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2294	辞令（任租税権中属）	大蔵省	小池国武（渡辺国武）（権中録）	明治5年2月15日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2295	辞令（地券取調掛申付）	租税寮	〔小池国武（渡辺国武）（租税権中属）〕	明治5年3月	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2296	通知（巡視随行）	大蔵省	小池国武（渡辺国武）（租税権中属）	明治5年4月8日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2297	辞令（任租税中属）	渡辺清（大蔵大丞）	小池国武（渡辺国武）（租税権中属）	明治5年11月17日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2298	辞令（任租税中属）	大蔵省	小池国武（渡辺国武）（租税権中属）	明治5年11月17日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2299	辞令（改正掛申付候事）	租税寮	〔小池国武（渡辺国武）（租税中属）〕	明治5年11月18日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2300	辞令（会議二付地券税法取調専務申付候事）	租税寮	〔小池国武（渡辺国武）（租税中属）〕	明治6年4月15日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2301	辞令（任租税権大 属）	渡辺清（大蔵 大丞）	小池国武（渡 辺国武）（租 税中属）	明治6年5月20 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2302	辞令（任租税権大 属）	大蔵省	小池国武（渡 辺国武）（租 税中属）	明治6年5月20 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2303	辞令（任租税大 属）	渡辺清（大蔵 大丞）	小池国武（渡 辺国武）（租 税権大属）	明治7年1月22 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2304	通知（上等月給下 賜候事）	大蔵省	小池国武（渡 辺国武）（租 税大属）	明治7年1月22 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2305	辞令（補租税寮七 等出仕）	三条実美（太 政大臣） [宣]、土方久 元（大内史） [奉]	〔小池国武（渡 辺国 武）〕	明治7年4月13 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2306	通知（三重県、渡 会県、滋賀県、愛 知県巡回仰付）	大蔵省	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮七等出 仕）	明治7年9月7日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2307	〔京都府、奈良 県、和歌山県等へ の出張命令書〕	大蔵省	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮七等出 仕）	明治8年2月10 日	数量 1枚 記述法 墨書 備考 もとは請求番号2307（前半）と2370 （後半）で分かれていた。	あり
2308	辞令（補租税寮六 等出仕）	三条実美（太 政大臣） [宣]、土方久 元（大内史） [奉]	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮七等出 仕）	明治8年4月19 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2309	辞令（地租改正事 務局出仕被仰付候 事）	太政官	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮七等出 仕）	明治8年5月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2310	辞令（兼補地租改 正局六等出仕）	三条実美（太 政大臣） [宣]、土方久 元（大内史） [奉]	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮六等出 仕）	明治8年5月10 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2311	辞令（地租改正事 務局御用掛被仰付 候事）	太政官	小池国武（渡 辺国武）（租 税寮六等出 仕）	明治8年5月19 日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2312	出張命令書	地租改正事務局	小池国武（渡辺国武）（租税寮六等出仕）	明治8年7月8日	数量 1枚 内容 関西、四国地方への出張を命じた文書。 記述法 墨書	あり
2313	辞令（任高知県権令）	三条実美（太政大臣） [宣]、土方久元（大内史） [奉]	小池国武（渡辺国武）（租税寮六等出仕兼地租改正局六等出仕）	明治9年8月26日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2314	位記（叙正六位）	岩倉具視（右大臣） [宣]、土方久元（大内史） [奉]	小池国武（渡辺国武）	明治9年9月6日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2315	辞令（依願免兼出仕）	岩倉具視（右大臣） [宣]、土方久元（大内史） [奉]	小池国武（渡辺国武）（高知県権令兼地租改正局六等出仕）	明治9年9月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2316	通知（月俸式百円下賜候事）	太政官	小池国武（渡辺国武）（高知県令）	明治11年7月25日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2317	通知（譴責）	三条実美（太政大臣）	渡辺国武（高知県令）	明治12年3月6日	数量 1枚 内容 「其県下名東勝浦両郡並阿波麻植両郡ヲ合シ各一郡長ヲ置ノ件、内務卿へ稟請セズ専決施行候段成規ニ違ヒ不都合ニ付譴責ス。」 記述法 墨書	あり
2318	辞令（依願免本官）	太政官	渡辺国武（高知県令）	明治12年6月7日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2319	通知（満十年勤続二付目録之通下賜候事）	高知県	渡辺国武	明治12年6月	数量 2枚 内容 金1千円下賜。 記述法 墨書	あり
2320	通知（地租改正事務勲励従事候二付為其賞別紙目録之通下賜候事）	太政官	渡辺国武	明治14年7月25日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2321	辞令（任福岡県令）	三条実美（太政大臣） [宣]、作間一介（内閣書記官） [奉]	渡辺国武	明治14年8月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2322	通知（月俸式百円下賜候事）	太政官	渡辺国武（福岡県令）	明治14年8月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2323	位記（叙従五位）	三条実美（太政大臣） [宣]、作間一介（内閣書記官）[奉]	渡辺国武	明治14年9月29日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2324	通知（自今月俸五拾円増給候事）	太政官	渡辺国武（福岡県令）	明治14年12月16日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2325	辞令（任大蔵大書記官）	三条実美（太政大臣） [宣]、井上毅（内閣書記官長）[奉]	渡辺国武（福岡県令）	明治15年5月1日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2326	辞令（調査局勤務申付候事）	松方正義（大蔵卿）	渡辺国武（大蔵大書記官）	明治15年5月1日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2327	辞令（御用有之朝鮮国出張被仰付候事）	太政官	渡辺国武（大蔵大書記官）	明治15年8月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2328	辞令（調査局長申付候事）	松方正義（大蔵卿）	渡辺国武（調査局勤務大蔵大書記官）	明治15年11月2日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2329	辞令（主計局長心得被仰付候事）	大蔵省	渡辺国武（大蔵大書記官）	明治19年1月16日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2330	辞令（任大蔵省主計局長）	伊藤博文（内閣総理大臣） [宣]、田中光顕（内閣書記官長）[奉]	渡辺国武	明治19年3月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2331	辞令（叙高等官一等）	伊藤博文（内閣総理大臣） [宣]	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治19年4月10日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2332	通知（上級俸下賜）	大蔵省	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治19年4月10日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2333	辞令（大蔵次官郷純造出張中代理ヲ命ス）	大蔵省	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治19年6月22日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2334	位記（叙正五位）	伊藤博文（内閣総理大臣） [宣]	渡辺国武	明治19年11月16日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2335	辞令（郡区長試験委員ヲ囑託ス）	内務省	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治21年2月2日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2336	辞令（地方会計法規取調委員ヲ命ス）	大蔵省	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治21年3月24日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2337	辞令（任大蔵次官）	黒田清隆（内閣総理大臣） [奉]	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治21年11月28日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2338	辞令（叙勅任官二等賜下級俸）	黒田清隆（内閣総理大臣） [奉]	渡辺国武（大蔵次官）	明治21年11月28日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2339	辞令（兼任大蔵省主計局長）	黒田清隆（内閣総理大臣） [宣]	渡辺国武（大蔵次官）	明治21年11月28日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2340	辞令（叙奏任官一等）	黒田清隆（内閣総理大臣） [宣]	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治21年11月28日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2341	位記（叙従四位）	土方久元（宮内大臣） [奉]	渡辺国武	明治21年12月6日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2342	〔献納金に対する礼状〕	柳原前光（賞勲局総裁）、大給恒（賞勲局副総裁）	渡辺国武（大蔵次官兼大蔵省主計局長）	明治22年7月3日	数量 1枚 内容 「防海ノ事業ヲ賛成シ大蔵省奏任官七十六名共同金三千圓献納候段奇特二候事」。 記述法 墨書	あり
2343	通知（賜上級俸）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治23年5月22日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2344	辞令（叙勅任官二等）	山縣有朋（内閣総理大臣） [奉]	渡辺国武（大蔵省主計局長）	明治23年7月3日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2345	辞令（任予算案政府委員）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治23年12月3日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2346	辞令（特別輸出港規則追加案政府委員被仰付）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治23年12月5日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2347	辞令（大蔵省所管事務政府委員被仰付）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治23年12月23日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2348	辞令（陞叙勅任官一等賜下級俸）	松方正義（内閣総理大臣） [奉]	渡辺国武	明治24年6月8日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2349	辞令（免兼官）	内閣	渡辺国武（大蔵次官兼大蔵省主計局長）	明治24年7月24日	数量 1枚 付属資料 白紙、1枚 記述法 墨書	あり
2350	辞令（郡区長試験委員ヲ囑託ヲ解ク）	内務省	渡辺国武（大蔵次官）	明治24年10月2日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2351	辞令（大蔵省所管事務政府委員被仰付）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治24年10月30日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2352	辞令（大蔵省所管事務政府委員被仰付）	内閣	渡辺国武（大蔵次官）	明治25年4月1日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2353	位記（叙正三位）	土方久元（宮内大臣）[奉]	渡辺国武	明治25年9月26日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2354	〔木盃下賜の件〕	西園寺公望（賞勲局総裁）、大給恒（賞勲局副総裁）	渡辺国武	明治26年10月23日	数量 1枚 内容 「東京市麻布区飯倉南山麻布各小学校建築費トシテ金五拾圓寄附候段奇特二付為其賞木盃壹個下賜候事」。 記述法 墨書	あり
2355	〔木盃下賜の件〕	西園寺公望（賞勲局総裁）、大給恒（賞勲局副総裁）	渡辺国武	明治27年4月13日	数量 1枚 内容 「明治二十四年震災ノ節愛知岐阜両県下被害者救助トシテ金五拾円施与候段奇特二付為其賞木盃壹個下賜候事」。 記述法 墨書	あり
2356	〔木盃下賜の件〕	西園寺公望（賞勲局総裁）、大給恒（賞勲局副総裁）	渡辺国武	明治27年10月3日	数量 1枚 内容 「官幣中社金崎宮造営費トシテ金二十円寄附候段奇特二付為其賞木盃壹個下賜候事」。 記述法 墨書	あり
2357	通知（特旨ヲ以テ華族ニ被列）	宮内省	渡辺国武	明治28年8月20日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2358	〔金円下賜〕	土方久元（宮内大臣）	渡辺国武	明治28年8月20日	数量 1枚 内容 「今般依勲功被列華族候二付特旨ヲ以テ帝室御資産ノ内金式万圓下賜候」。 付属資料 白紙、2枚 記述法 墨書	あり
2359	辞令（免本官専任大蔵大臣）	内閣	渡辺国武（通信大臣兼大蔵大臣）	明治28年10月9日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2360	辞令（依願免本官）	内閣	渡辺国武（大蔵大臣）	明治29年9月18日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2361	〔木盃下賜の件〕	大給恒（賞勲局総裁）	渡辺国武	明治32年1月21日	数量 1枚 内容 「明治二十九年六月三陸海嘯ノ際宮城岩手青森県下罹災者へ金百円救恤候段奇特二付為其賞木杯壹組下賜候事」。 記述法 墨書	あり
2362	辞令（依願免本官）	内閣	渡辺国武（大蔵大臣）	明治34年5月14日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2363	〔金圓寄進の礼状〕	官幣中社諏訪神社	渡辺国武	明治39年5月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり

資料 番号	タイトル	作成者	宛先	年月日	内容・備考等	画像
2364	〔木盃下賜の件〕	大給恒（賞勲局総裁）	渡辺国武	明治39年11月26日	数量 1枚 内容 「明治三十八年四月官幣中社諏訪神社宮繕費トシテ金百円寄附候段奇特二付為其賞木杯壺組下賜候事」。 付属資料 受領証、1枚 記述法 墨書	あり
2365	〔木盃下賜の件〕	正親町実正（賞勲局総裁）	渡辺国武	明治42年2月27日	数量 1枚 内容 「東京市麻布区特殊小学校建築費トシテ金百円寄附候段奇特二付為其賞木盃壺組下賜候事」。 付属資料 領収書の書式、1枚 記述法 墨書	あり
2366	位記（叙従二位）	渡辺千秋（宮内大臣）[奉]	渡辺国武	明治44年5月10日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2367	位記（叙正二位）	波多野敬直（宮内大臣）[奉]	渡辺国武	大正8年5月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2368	勲記（授旭日大綬章）	賞勲局	渡辺国武	大正8年5月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり
2369	通知（特旨ヲ以テ位一級被進）	宮内省	渡辺国武	大正8年5月12日	数量 1枚 記述法 墨書	あり